USA's primary source for projector lamps

myprojectorlamps

プロジェクター所有者の取扱説明書

BenQ

PX9600

このプロジェクターの交換用ランプが必要ですか？

www.mplamps.co.jp

メーカーオリジナル取扱説明書。MyProjectorLamps.comの厚意として、修正せずに提供しています。
すべての商標は、それぞれの所有者の所有物です。

PX9600 / PW9500
デジタル プロジェクタ
BenQ 取扱説明書

目次

安全上のご注意 4
概要 7
パッケージ内容 7
プロジェクタ外観ビュー 8
前面 / 上面 8
背面 8
左面 8
右上 9
底面 9
コントロール パネルと機能 10
リモコンおよび機能 11
リモコン操作 12
設定と操作 13
リモコンの電池の設定 13
プロジェクタに繋ぐ 13
投映レンズの選択と取り付け 14
光学レンズの取り付けまたは取り外し 14
新しいレンズの取り付け 14
盗難防止用ネジを使って新しいレンズを取り付ける 14
古いレンズを取り外す 15
設置場所の選択 16
投映距離とスクリーン サイズ 17
レンズシフトの調整範囲 19
接続する 20
準備 20
DVI-D デバイスの接続 21
コンポーネントビデオ機器との接続 22
コンピュータの接続 23
モニタの接続 24
プロジェクタの使用方法 25
準備 25
装置の電源をオン / オフにする 26
入力ソースの選択 27
ビデオソースを選択するには : 27
メニューの使用方法 28
投映画像の調整 29
画像の位置調整 29
画像サイズと明瞭さの微調整 30
投映角度の調整 30
画像の歪みの補正する 31
イメージの自動調整 31
プロジェクタを終了 32
OSD の使用方法 33
メニューの使用方法 33
OSD をナビゲートする 33
OSD（On-Screen Display）メニュー 34
メニュー マップ 34
映像調整 36
信号 40
ビデオ 41

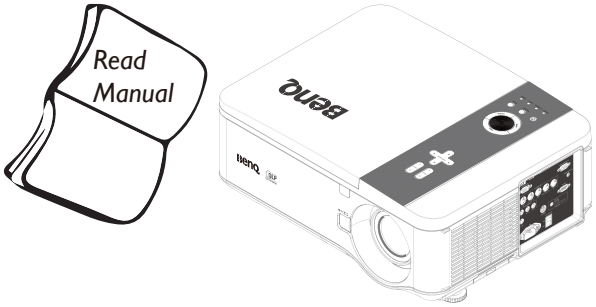
表示設定 42
インストール 48
プロジェクタを不正使用から保護する 56
プロジェクタのロックを解除する 57
物理的なロックを使う 57
追加情報 58
プロジェクタのお手入れ 58
レンズのクリーニング 58
プロジェクタケースのクリーニング 58
プロジェクタの保管 58
プロジェクタの移動 58
カラーホイール（オプション）のインストール 62
フィルタのお手入れ 64
トラブルシューティング 66
インジケータのメッセージ 66
よくある問題とその対処法 67
トラブルシューティングのためのヒント 67
画像の問題 68
仕様 70
寸法 71
タイミング表 72
3D 対応タイミング 73
RS232 コマンド コントロール 74

高性能 BenQ プロジェクタをお買い上げいただきありがとうございます。最高の状態でお使いいただくために、コントロールメニューや操作方法については本書をよくお読みください。

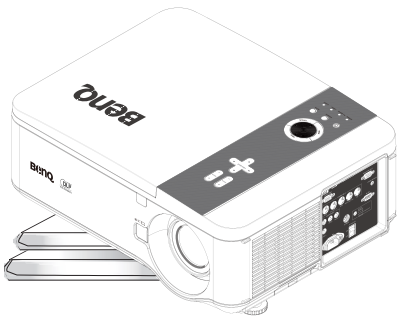
安全上のご注意

お使いのプロジェクタは、情報テクノロジ機器の最新の安全規格に適合するように設計され、テストされています。ただし、本装置を安全にご使用いただくために、このガイドおよび装置のマークに記載されている指示に従ってください。

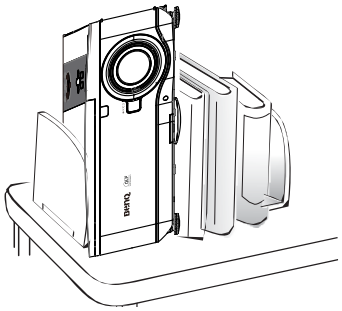
1. 本製品を操作する前に、本書を最後までよくお読みください。このマニュアルは、いつでも参照できるように手の届く場所に保管してください。



2. 本製品を操作する時には、常に水平レベルを維持してください。
   - 本製品をカート、スタンド、机の上に載せると落下する恐れがあり危険です。また、破損する可能性もありますので、このような場所には設置しないでください。
   - 装置の近くに可燃物を置かないで ください。
   - 左右に 10 度以上、前後に 15 度以上傾斜した状態で装置を ご使用にならないでください。



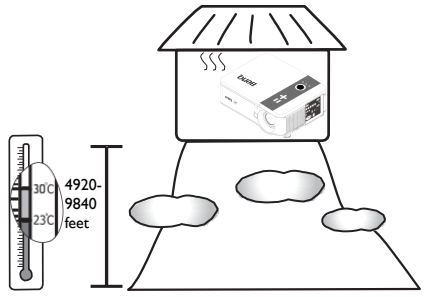
3. 本製品を縦向きにしないでください。装置が落下して、ケガや破損の原因となります。



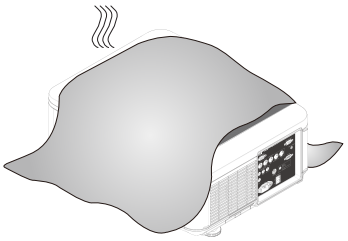
4. 次の場所に本製品を設置しないでください。
   - 通気が不十分な場所または密閉されている場所。壁から 50 cm 以上離し、周辺に空気が流れるような隙間を確保してください。
   - 温度が高温になる可能性のある場所（例えば、窓を閉め切った社内など）
   - 湿度の高い場所、ホコリやタバコの煙が充満している場所は、光学コンポーネントが汚れる可能性があり、本製品の寿命が短くなったり、スクリーンが暗くなる原因となります。



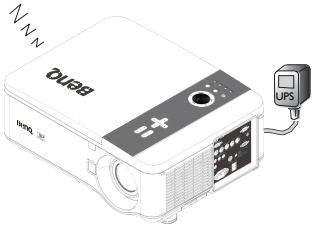
- 火災報知器に近い場所。
- 環境の温度が 35°C/95°F 以上になる場所。
- 高度が海抜 1500 メートル /4920 フィート以上の場所。



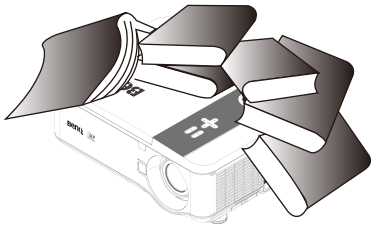
5. 本製品が作動している間は、通気口を塞がないでください（スタンバイ モードのときも同様です）。
   - 本製品の上に布などをかぶせないでください。
   - 本製品を毛布、ベッド、その他柔らかい物の上に載せないでください。



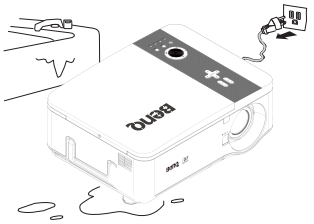
6. 主要電源の電圧が ±10 ボルトも変わる場所では、本製品をスタビライザ、サージプロテクタ、無停電電源装置（UPS）など、状況に合った製品を合わせてお使いください。



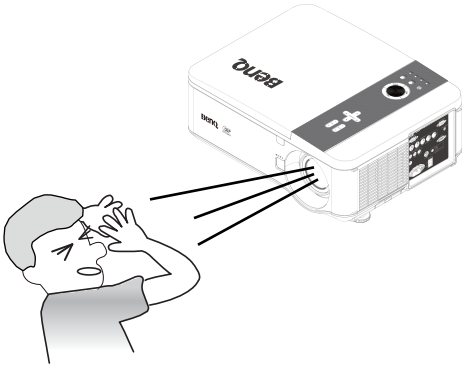
7. 本製品を踏みつけたり、その上に物を置いたりしないでください。



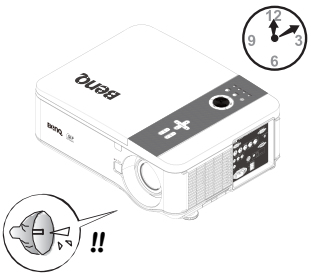
8. 本製品の上または近くに液体を置かないでください。
   本製品に液体が入った場合は、保証は適用されません。装置が濡れてしまったときには、電源を抜き BenQ に修理を依頼してください。



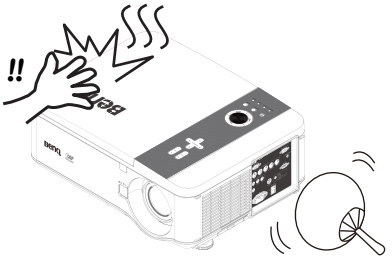
9. 本製品が作動しているときに、レンズを覗き込まないでください。視力障害を引き起こす場合があります。



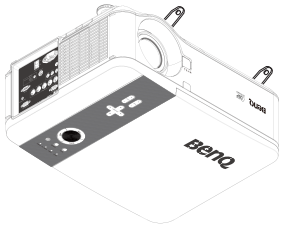
10. 表記されている時間を超えてランプを使用しないでください。長く同じランプを使用し続けると、場合によってはランプが破損することがあり、大変危険です。



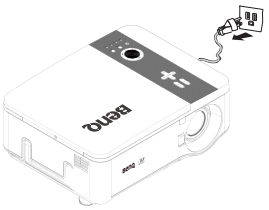
11. ランプは、動作中非常に高温になります。ランプ交換を行う場合は、作業の前に約 45 分間の冷却時間をとってください。



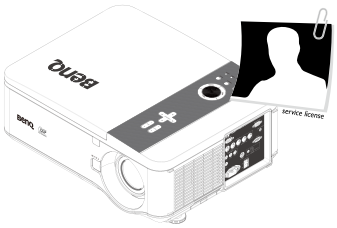
12. 本製品は、天井に取り付けることができます（画像が反転します）。取り付けには、BenQ の天井取り付けキットをご使用ください。



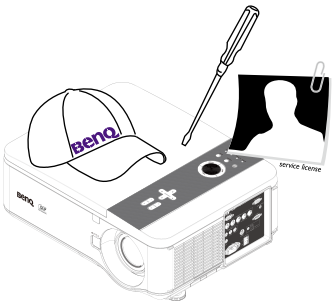
13. 装置が完全に冷却されるまでお待ちになり、電源を抜いてからランプ交換を行ってください。



14. 補修または修理が必要と思われる場合は、認定を受けた専門の技術者に依頼してください。



15. 本装置のキャビネットは開けないでください。
内部には高電圧になるコンポーネントが含まれており、接触すると死亡に至る場合があります。お客様ご自身で交換できるパーツはランプのみであり、独自の取り外しカバーが付いています。
絶対にお客様ご自身でこれ以外のカバーを開けないでください。補修は認定を受けた専門の技術者におまかせください。



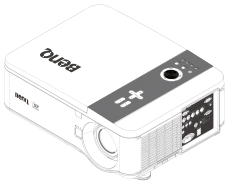
将来搬送が必要な場合に備えて、元の梱包材料は捨てずに保管しておいてください。

概要

パッケージ内容

丁寧に開梱し、次に示すものがすべて揃っていることを確認してください。購入された地域によっては、一部含まれていない場合があります。ご購入場所をご確認ください。

一部のアクセサリは、国によって異なる場合があります。
保証書は特定地域でしか提供しておりません。詳細は、本製品を購入された販売店へお問い合わせください。

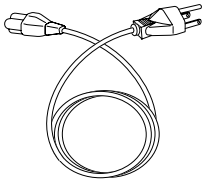

プロジェクタ（レンズなし）

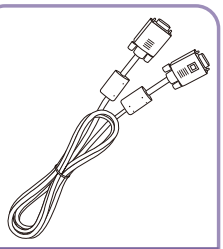

リモコン（単三形電池なし）

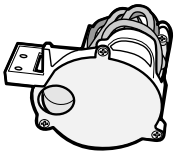

保証書

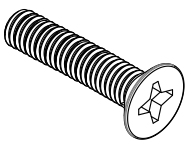

ユーザー マニュアル CD


クイックスタートガイド

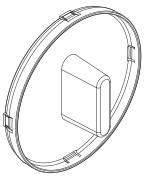

電源ケーブル


VGA ケーブル


C-Type カラーホイール

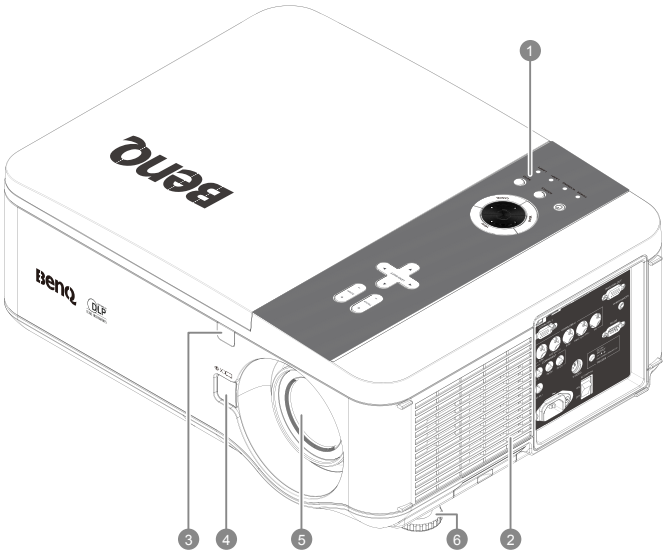

盗難防止用ネジ


有線リモコンケーブル


レンズホールキャップ

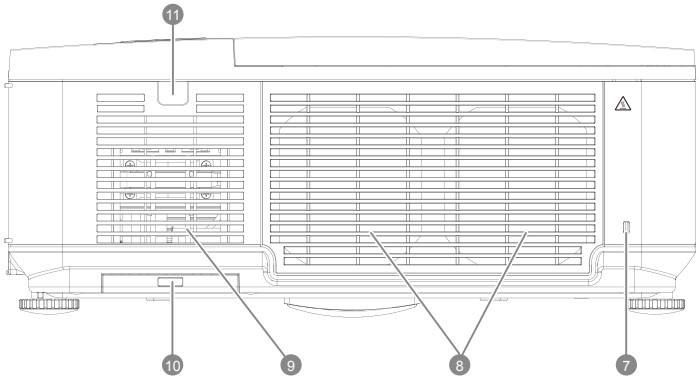
プロジェクタ外観ビュー

前面 / 上面



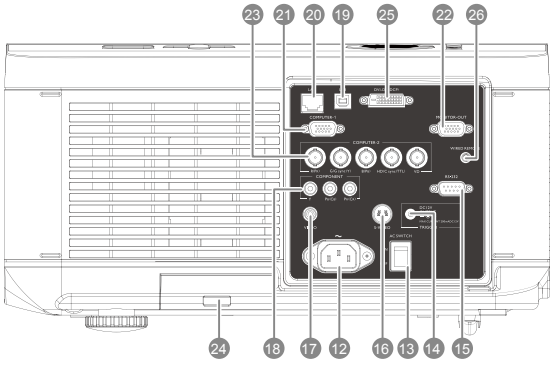
1. コントロール パネル
2. 通気口
3. 前面 IR センサー
4. レンズ取り外しボタン
5. レンズ（ご使用前にレンズキャップを外してください）
6. レベル調整用脚

背面



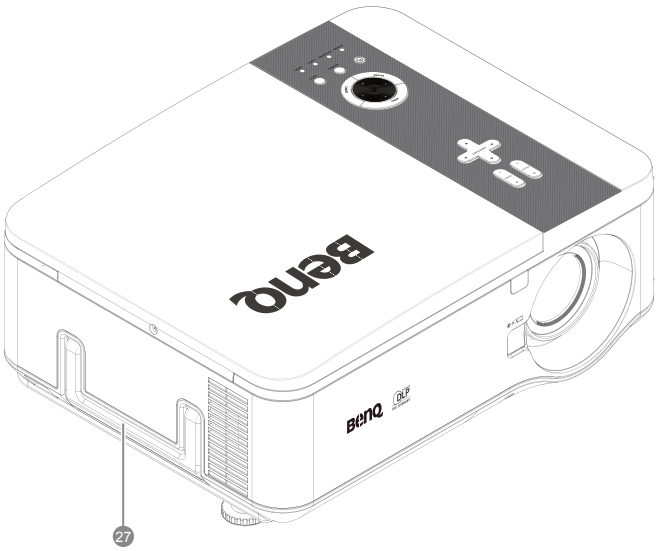
7. Kensington ロック
8. 排気口
9. 通気口
10. エアフィルタ
11. 背面 IR センサー

左面



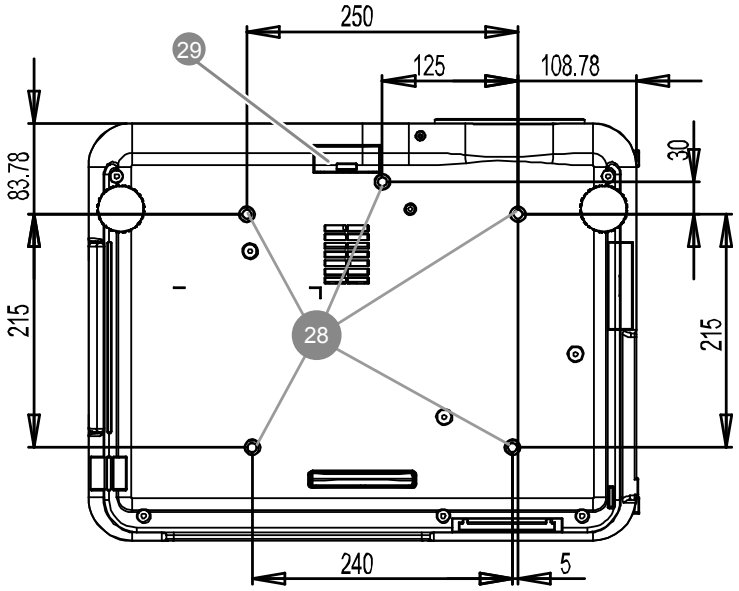
12. AC 電源コード差し込み口
13. 電源スイッチ
14. スクリーン出力
15. RS-232 コントロール入力
16. S ビデオ入力
17. V ビデオ入力
18. コンポーネント Y/Pb(Cb)/Pr(Cr) 入力
19. 補修用 USB ポート
20. LAN-RJ45
21. コンピュータ 1、D-Sub VGA 入力
22. モニタ出力、コンピュータ 1 専用
23. コンピュータ 2、RGBHV(H+V)、Y/Pb(CB)/Pr(Cr) 入力
24. エアフィルタ
25. DVI-D 入力
26. 有線リモート

右上



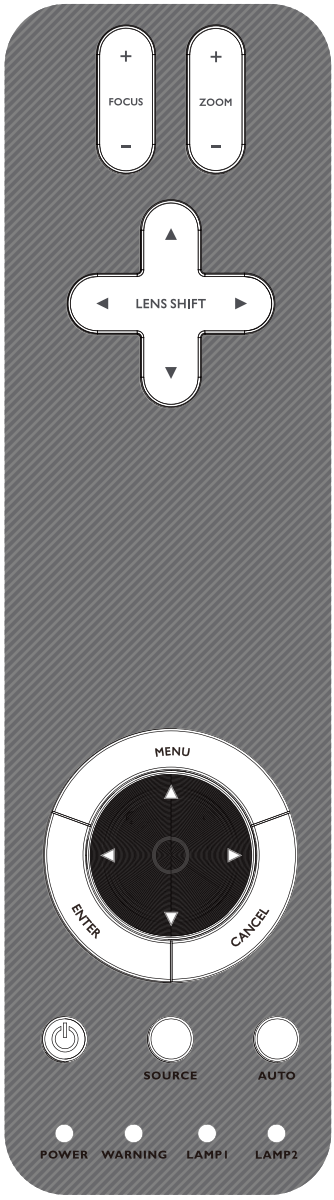
27. ハンドル

底面



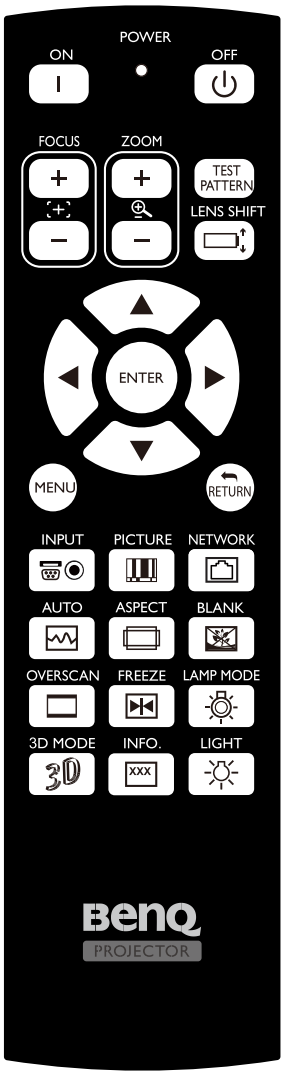
28. 天井取り付け用穴
（取り付け用ネジ：M4*12mm）
29. エアフィルタ

コントロール パネルと機能



装置	機能
FOCUS+	投映画像のフォーカス調整
FOCUS-	
ZOOM+	投映画像のサイズ調整
ZOOM-	
上ボタン	コントロール レンズでイメージを左右上下に動かします
右ボタン	
下ボタン	
左ボタン	
MENU	OSD の表示 / 終了
上 / 下 / 左 / 右ボタン	OSD の設定をナビゲートして変更します
ENTER	OSD の設定を選択または変更します
CANCEL	OSD を終了します
POWER	装置の電源をオン / オフにします（先に主要電源スイッチをオンにしてください）。押すと装置がスタンバイ モードに入ります
SOURCE	入力ソースを選択します
AUTO	イメージ サイズ、位置、解像度を最適化する自動同期を行います
POWER (LED)	緑 / 赤 / オレンジ / 点滅 「インジケータ メッセージ」 66 ページトラブルシューティング
WARNING (LED)	緑 / 赤 / オレンジ / 点滅 「インジケータ メッセージ」 66 ページトラブルシューティング
LAMP 1 (LED)	緑 / 点滅、「インジケータ メッセージ」 66 ページトラブルシューティング
LAMP 2 (LED)	

リモコンおよび機能



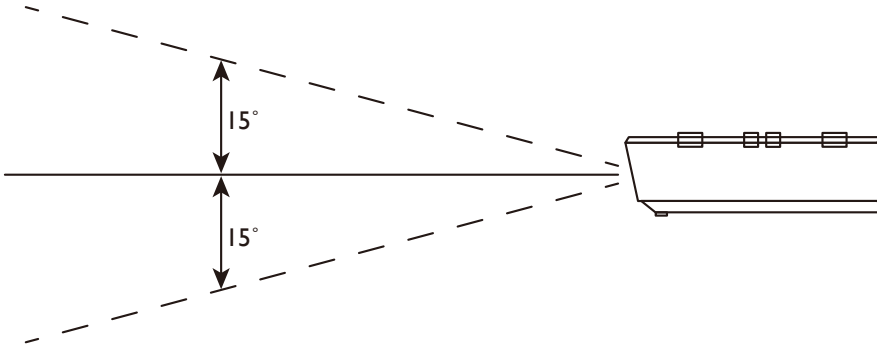


装置	機能
状態 LED	リモコン使用中は点灯します
ON	スタンバイ モードから装置をオンにします
OFF	スタンバイ モードから装置をオフにします
FOCUS+	投映画像のフォーカス調整
FOCUS-	投映画像のフォーカス調整
ZOOM+	投映画像のサイズを上げます
ZOOM-	投映画像のサイズを下げます
TEST PATTERN	テストパターンの選択
LENS SHIFT	レンズのシフト範囲を調整
上	OSD のカーソルを上に移動
右	OSD のカーソルを右に移動またはサブメニュー
下	OSD のカーソルを下に移動
左	OSD のカーソルを左に移動またはサブメニュー
ENTER	OSD の設定を選択または変更
MENU	OSD メイン メニューを表示
RETURN	1 つ前の OSD ページに戻るまたはメニュー終了
INPUT	表示するイメージの選択
PICTURE	映像メニューを表示
NETWORK	LAN 入力コントロール
AUTO SYNC	位相、トラッキング、サイズ、位置を自動調整
ASPECT	投映画像の縦横比を設定
OVERSCAN	オーバースキャンを有効 / 無効にします
FREEZE	画像を静止 / 解除します
3D MODE	3D モード メニューを開きます
INFO.	本体情報メニューを表示します
LIGHT	リモコンのボタンを 10 秒間点灯します
BLANK	ディスプレイ イメージ機能を有効 / 無効にします
LAMP MODE	ランプ制御メニューを表示または変更
有線リモート ジャック	リモート ケーブルを繋ぐためのジャックです

リモコン操作

- リモコンとプロジェクタの赤外線（IR）センサーの間には、IR 光線の障害となるような物を置かないでください。

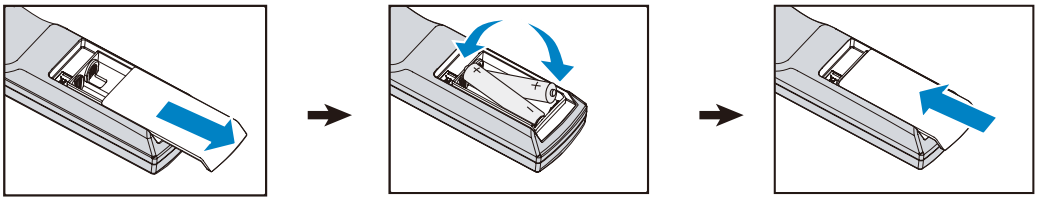
- リモコンの有効範囲は最高 7 メートル、角度にして 30 度以内です。赤外線光線はスクリーンにも反射しますが、常にプロジェクタに向けて当てるようにしてください。



設定と操作

リモコンの電池の設定

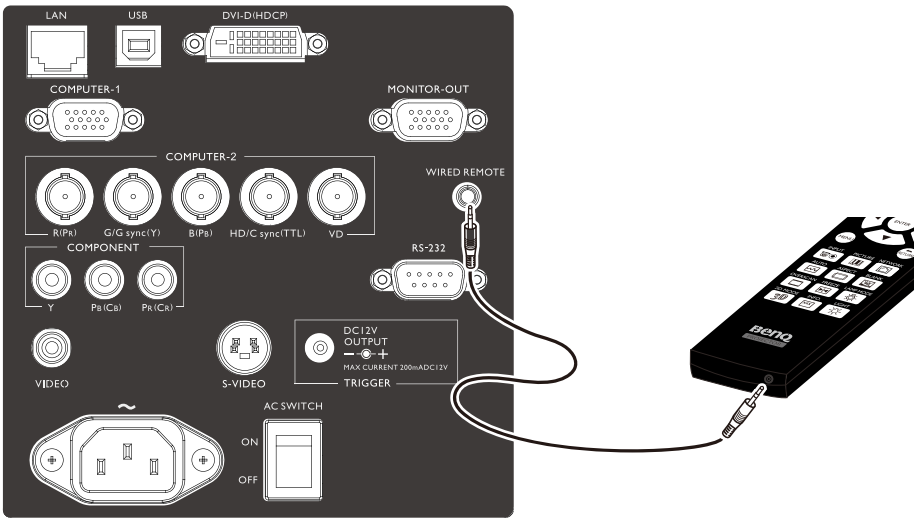
1. バッテリー カバーは、リモコンの裏側にあるカバーとの溝を指で押して、図に示す方向にスライドさせると開きます。カバーは完全に外れます。
2. 古い電池を取り出すと、電池格納庫の中に挿入方向が表記されていますので、極性に注意しながら新しい単三形電池 2 個を挿入してください。プラス極 (+) はプラスに、マイナス極 (-) はマイナスの方向に設置します。
3. 再びカバーを元に戻してください。カチッという音がしたらカバーが閉まったことを意味しています。



- 古いバッテリーと新しいバッテリーを混ぜて使用したり、異なるタイプのバッテリーを混ぜて使用したりしないでください。
- リモコンや電池は台所、浴室、サウナ、サンルーム、車内など高温多湿の場所に放置しないでください。
- また、使用済みの電池はメーカーの指示および地域の環境規定にしたがって処分してください。
- リモコンを長期間使用しないときには、漏電によりリモコンのコントロール部分が破損しないように電池は外しておいてください。

プロジェクタに繋ぐ

リモコンとプロジェクタの間に物が置いてあったり、高周波の蛍光灯があったりするなどしてリモコンを使用できない場合は、M3 ステレオ ミニ ジャック ケーブルでプロジェクタに繋ぎ操作することができます。

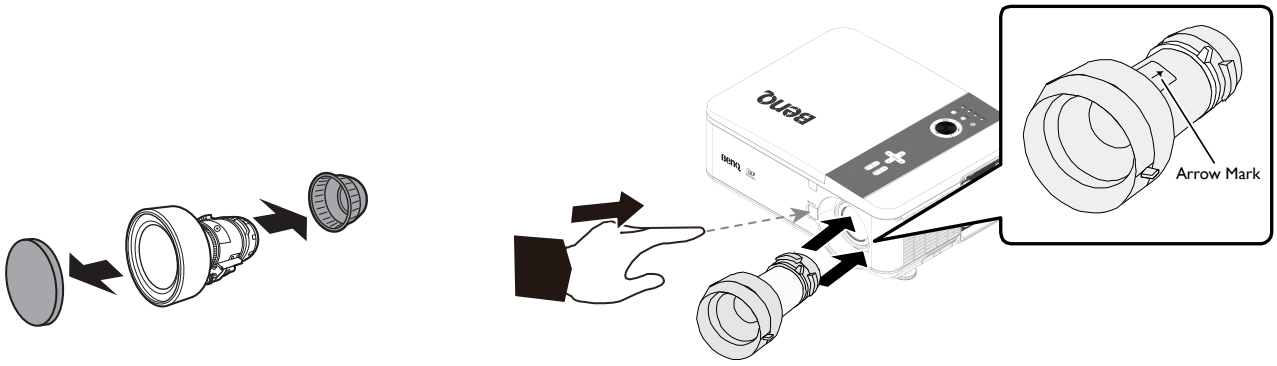


投映レンズの選択と取り付け

装置にレンズを取り付ける際は、光学レンズを取り付ける前に光学レンズの後ろにあるレンズキャップを外してください。レンズキャップを着けたままにしておくと、故障の原因となります。

光学レンズの取り付けまたは取り外し
新しいレンズの取り付け

1. レンズキャップを外します。
   「**LENS CHANGE**」（レンズ変更）ボタンを押して、矢印が上になるようにしてレンズを挿入します。

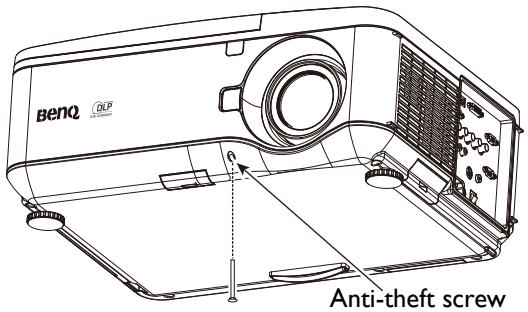


2. レンズを完全に挿入すると、「**LENS CHANGE**」（レンズ変更）ボタンは表示されなくなります。カチッという音が 2 回聞こえるまで レンズを右方向に回転させてください。



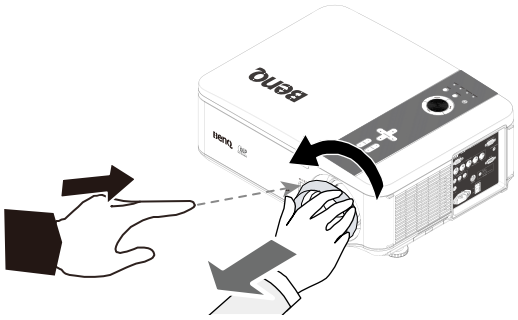
盗難防止用ネジを使って新しいレンズを取り付ける

盗難防止用のネジを使用することで、レンズの盗難を防止できます。
正面下にある付属の盗難防止用レンズを締めてください。

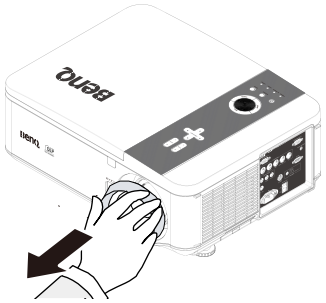


古いレンズを取り外す

1. 「**LENS CHANGE**」（レンズ変更）ボタンを全押しして、レンズを左回転させます。既存のレンズが外れます。



2. 既存のレンズをゆっくりと外します。



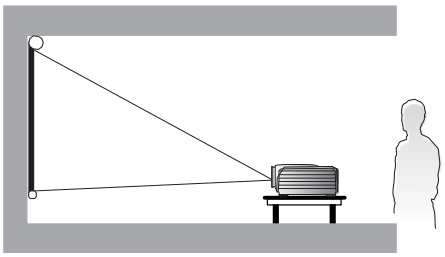
- プロジェクタやレンズには精密部品が使用されていますので、強く揺さぶったり、押したりしないでください。
- レンズを外したり、取り付けたりする前にプロジェクタの電源を切り、冷却ファンが停止するまで待ってから主要電源を切ってください。
- レンズを外したり、取り付けたりする際は、レンズの表面に手を触れないでください。
- レンズの表面に指紋、ホコリ、手垢などが付着しないようにしてください。レンズの表面に傷をつけないでください。
- レンズを取り外して保管する時には、プロジェクタにレンズキャップを付けてホコリやゴミが入らないようにしてください。

設置場所の選択

本機は次の 4 通りの設置状態で使うことができます。

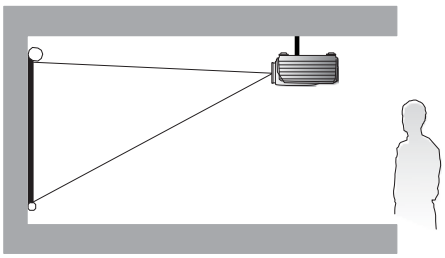
部屋のレイアウトやお好みで、どの設定で設置するか決めてください。設置する際は、スクリーンのサイズや位置、電源コンセントがある場所、プロジェクタとその他の装置の距離や位置などを考慮してください。

1. フロント：
   スクリーン前のフロア 近くに設置します。簡単に設定したり、手軽に持ち運びたい場合は、この方法が一般的です。



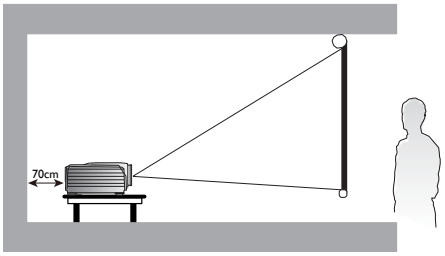
2. 天吊り：
   クリーン前の天井 に取り付ける場合に選択します。天井に取り付ける場合は、販売店にて BenQ プロジェクタ 天井取り付けキットをご購入ください。

* プロジェクタの電源を入れた後で、「天吊り」 に設定してください。



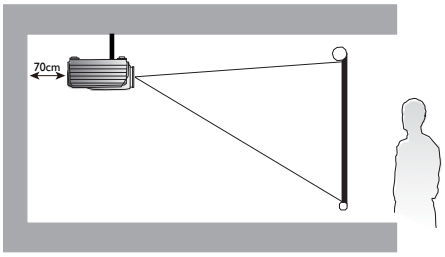
3. リア：
   スクリーン後ろの床近くに 設定する場合に選択します。
   取り付けには、専用の背面スクリーンが必要です。

* プロジェクタの電源を入れた後で、「フロア背面」に設定してください。



4. 天吊り + リア：
   スクリーン後ろの天井 に取り付ける場合に 選択します。
   取り付けには、専用の背面スクリーンと BenQ プロジェクタ天井取り付け キットが必要です。

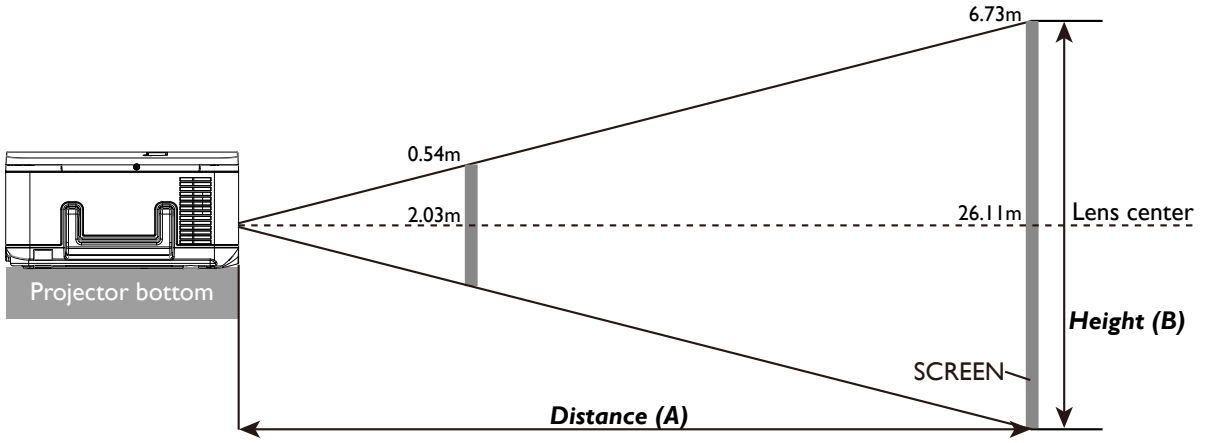
* プロジェクタの電源を入れた後で、「天吊り + リア」 に設定してください。



* プロジェクタの位置を設定するには：
「MENU」 を押し、◄/► を押してインストール メニューを表示してください。
▲/▼ を押して投映方式を選択し、◄/► を押して位置を選択してください。

投映距離とスクリーン サイズ

標準レンズ使用の PW9500 の例：
プロジェクタをスクリーンから遠ざけるほど、画像は大きくなります。プロジェクタを壁またはスクリーンから 2.03 メートル離したときの画像の最小サイズは、対角で約 1 メールとなります。また、プロジェクタを壁またはスクリーンから 26.11 メートル離したときの画像の最大サイズは、対角で 12.7 メートルとなります。



PW9500

スクリーンサイズ						5J.JAM37.011		5J.JAM37.021		5J.JAM37.001		5J.JAM37.051					
						ワイド固定レンズ		ワイド ズームレンズ		STD レンズ		セミロング ズーム 1					
対角		幅		高さ (B)		距離 (A)											
						使用できません		ワイド		遠距離		ワイド		遠距離		ワイド		遠距離	
(インチ)	(メートル)	(インチ)	(メートル)	(インチ)	(メートル)	(インチ)	(メートル)	(インチ)	(メートル)	(インチ)	(メートル)	(インチ)	(メートル)	(インチ)	(メートル)	(インチ)	(メートル)	(インチ)	(メートル)
40	1.02	34	0.86	21	0.54	26.4	0.67	43.6	1.11	63.1	1.60	60.2	1.53	79.8	2.03	77.6	1.97	130.5	3.31
50	1.27	42	1.08	26	0.67	33.5	0.85	55.0	1.40	79.3	2.01	75.9	1.93	100.4	2.55	97.8	2.48	163.9	4.16
60	1.52	51	1.29	32	0.81	40.5	1.03	66.4	1.69	95.5	2.43	91.7	2.33	121.0	3.07	117.9	3.00	197.3	5.01
80	2.03	68	1.72	42	1.08	54.7	1.39	89.3	2.27	128.0	3.25	123.1	3.13	162.3	4.12	158.3	4.02	264.1	6.71
100	2.54	85	2.15	53	1.35	68.8	1.75	112.1	2.85	160.5	4.08	154.5	3.93	203.5	5.17	198.7	5.05	330.9	8.41
120	3.05	102	2.58	64	1.62	82.9	2.11	135.0	3.43	193.0	4.90	186.0	4.72	244.7	6.22	239.0	6.07	397.7	10.10
150	3.81	127	3.23	79	2.02	104.1	2.64	169.2	4.30	241.7	6.14	233.1	5.92	306.5	7.79	299.6	7.61	498.0	12.65
180	4.57	153	3.88	95	2.42	125.3	3.18	203.5	5.17	290.4	7.38	280.3	7.12	368.4	9.36	360.1	9.15	598.2	15.19
200	5.08	170	4.31	106	2.69	139.4	3.54	226.4	5.75	322.9	8.20	311.7	7.92	409.6	10.40	400.5	10.17	665.0	16.89
300	7.62	254	6.46	159	4.04	210.0	5.33	340.6	8.65	485.3	12.33	468.9	11.91	615.7	15.64	602.3	15.30	999.0	25.38
400	10.16	339	8.62	212	5.38	280.6	7.13	454.8	11.55	647.7	16.45	626.1	15.90	821.9	20.88	804.1	20.42	1333.1	33.86
500	12.70	424	10.77	265	6.73	351.2	8.92	569.0	14.45	810.1	20.58	783.3	19.90	1028.0	26.11	1005.9	25.55	1667.1	42.35

スクリーンサイズ						5J.JAM37.031		5J.JAM37.041		5J.JAM37.061					
						ロングズーム 1 レンズ		ロングズーム 2 レンズ		ウルトラワイド ズームレンズ					
対角		幅		高さ (B)		距離 (A)									
						ワイド		遠距離		ワイド		遠距離		ワイド		遠距離	
(インチ)	(メートル)	(インチ)	(メートル)	(インチ)	(メートル)	(インチ)	(メートル)	(インチ)	(メートル)	(インチ)	(メートル)	(インチ)	(メートル)	(インチ)	(メートル)	(インチ)	(メートル)
40	1.02	34	0.86	21	0.54	124.9	3.17	190.3	4.83	183.3	4.65	292.2	7.42	25.8	0.65	32.8	0.83
50	1.27	42	1.08	26	0.67	157.5	4.00	239.2	6.08	232.0	5.89	368.1	9.35	32.7	0.83	41.4	1.05
60	1.52	51	1.29	32	0.81	190.1	4.83	288.1	7.32	280.7	7.13	444.0	11.28	39.6	1.00	50.0	1.27
80	2.03	68	1.72	42	1.08	255.2	6.48	385.9	9.80	378.1	9.60	595.9	15.13	53.3	1.35	67.3	1.71
100	2.54	85	2.15	53	1.35	320.3	8.14	483.7	12.29	475.6	12.08	747.7	18.99	67.1	1.70	84.5	2.15
120	3.05	102	2.58	64	1.62	385.5	9.79	581.5	14.77	573.0	14.55	899.6	22.85	80.9	2.05	101.8	2.59
150	3.81	127	3.23	79	2.02	483.2	12.27	728.2	18.50	719.1	18.27	1127.3	28.63	101.6	2.58	127.6	3.24
180	4.57	153	3.88	95	2.42	580.9	14.75	874.9	22.22	865.3	21.98	1355.1	34.42	122.2	3.10	153.5	3.90
200	5.08	170	4.31	106	2.69	646.0	16.41	972.7	24.71	962.7	24.45	1506.9	38.28	136.0	3.45	170.8	4.34
300	7.62	254	6.46	159	4.04	971.7	24.68	1461.8	37.13	1449.9	36.83	2266.2	57.56	204.9	5.20	257.0	6.53
400	10.16	339	8.62	212	5.38	1297.3	32.95	1950.8	49.55	1937.1	49.20	3025.4	76.85	273.8	6.95	343.2	8.72
500	12.70	424	10.77	265	6.73	1623.0	41.22	2439.8	61.97	2424.2	61.58	3784.7	96.13	342.7	8.70	429.4	10.91

PX9600

スクリーンサイズ						5J.JAM37.011		5J.JAM37.021		5J.JAM37.001		5J.JAM37.051					
						ワイド固定レンズ		ワイド ズームレンズ		STD レンズ		セミロング ズーム 1					
対角		幅		高さ (B)		距離 (A)											
						使用できません		ワイド		遠距離		ワイド		遠距離		ワイド		遠距離	
(インチ)	(メートル)	(インチ)	(メートル)	(インチ)	(メートル)	(インチ)	(メートル)	(インチ)	(メートル)	(インチ)	(メートル)	(インチ)	(メートル)	(インチ)	(メートル)	(インチ)	(メートル)	(インチ)	(メートル)
40	1.02	32	0.81	24	0.61	24.5	0.62	40.4	1.03	58.5	1.49	55.8	1.42	74.1	1.88	71.9	1.83	121.3	3.08
50	1.27	40	1.02	30	0.76	31.0	0.79	51.0	1.30	73.6	1.87	70.4	1.79	93.2	2.37	90.7	2.30	152.4	3.87
60	1.52	48	1.22	36	0.91	37.6	0.96	61.6	1.57	88.8	2.25	85.1	2.16	112.4	2.86	109.5	2.78	183.5	4.66
80	2.03	64	1.63	48	1.22	50.8	1.29	82.9	2.11	119.0	3.02	114.3	2.90	150.8	3.83	147.0	3.73	245.7	6.24
100	2.54	80	2.03	60	1.52	63.9	1.62	104.1	2.65	149.2	3.79	143.5	3.65	189.1	4.80	184.6	4.69	307.9	7.82
120	3.05	96	2.44	72	1.83	77.1	1.96	125.4	3.18	179.4	4.56	172.8	4.39	227.4	5.78	222.1	5.64	370.1	9.40
150	3.81	120	3.05	90	2.29	96.8	2.46	157.3	3.99	224.8	5.71	216.7	5.50	285.0	7.24	278.4	7.07	463.4	11.77
180	4.57	144	3.66	108	2.74	116.6	2.96	189.1	4.80	270.1	6.86	260.5	6.62	342.5	8.70	334.8	8.50	556.7	14.14
200	5.08	160	4.06	120	3.05	129.7	3.30	210.4	5.34	300.3	7.63	289.8	7.36	380.8	9.67	372.3	9.46	618.9	15.72
300	7.62	240	6.1	180	4.57	195.5	4.97	316.6	8.04	451.5	11.47	436.0	11.07	572.6	14.54	560.0	14.23	930.0	23.62
400	10.16	320	8.13	240	6.1	261.3	6.64	422.9	10.74	602.6	15.31	582.2	14.79	764.3	19.41	747.8	18.99	1241.0	31.52
500	12.70	400	10.16	300	7.62	327.1	8.31	529.1	13.44	753.7	19.14	728.5	18.50	956.1	24.28	935.5	23.76	1552.0	39.42

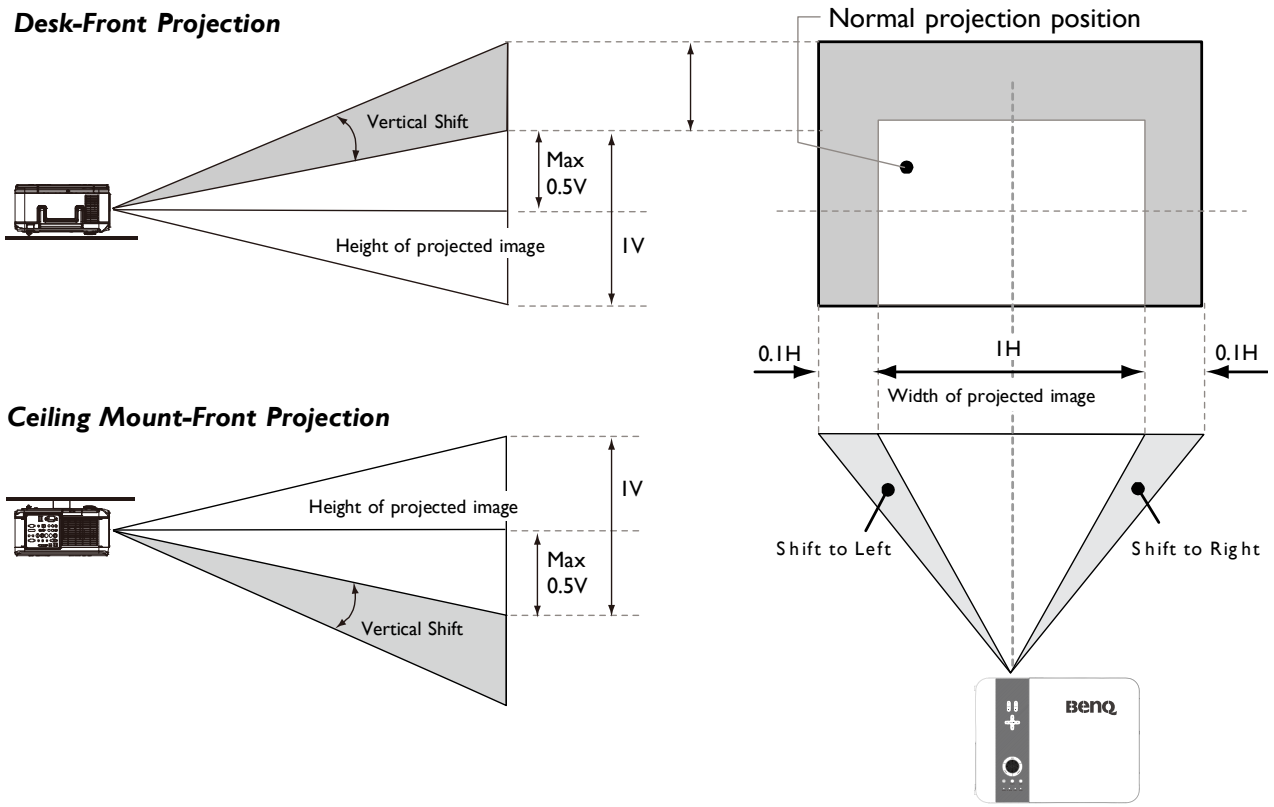
スクリーンサイズ						5J.JAM37.031				5J.JAM37.041				5J.JAM37.061			
						ロングズーム 1 レンズ				ロングズーム 2 レンズ				ウルトラワイド ズームレンズ			
対角		幅		高さ (B)		距離 (A)											
						ワイド		遠距離		ワイド		遠距離		ワイド		遠距離	
(インチ)	(メートル)	(インチ)	(メートル)	(インチ)	(メートル)	(インチ)	(メートル)	(インチ)	(メートル)	(インチ)	(メートル)	(インチ)	(メートル)	(インチ)	(メートル)	(インチ)	(メートル)
40	1.02	32	0.81	24	0.61	115.9	2.94	176.8	4.49	169.6	4.31	271.2	6.89	23.9	0.61	30.4	0.77
50	1.27	40	1.02	30	0.76	146.2	3.71	222.3	5.65	215.0	5.46	341.9	8.68	30.3	0.77	38.4	0.98
60	1.52	48	1.22	36	0.91	176.5	4.48	267.9	6.80	260.3	6.61	412.6	10.48	36.7	0.93	46.5	1.18
80	2.03	64	1.63	48	1.22	237.1	6.02	358.9	9.12	350.9	8.91	554.0	14.07	49.5	1.26	62.5	1.59
100	2.54	80	2.03	60	1.52	297.7	7.56	450.0	11.43	441.6	11.22	695.3	17.66	62.4	1.58	78.6	2.00
120	3.05	96	2.44	72	1.83	358.2	9.10	541.0	13.74	532.2	13.52	836.7	21.25	75.2	1.91	94.7	2.40
150	3.81	120	3.05	90	2.29	449.1	11.41	677.6	17.21	668.2	16.97	1048.8	26.64	94.4	2.40	118.8	3.02
180	4.57	144	3.66	108	2.74	540.0	13.72	814.2	20.68	804.1	20.42	1260.9	32.03	113.7	2.89	142.9	3.63
200	5.08	160	4.06	120	3.05	600.6	15.26	905.3	22.99	894.8	22.73	1402.2	35.62	126.5	3.21	158.9	4.04
300	7.62	240	6.1	180	4.57	903.6	22.95	1360.5	34.56	1348.0	34.24	2109.1	53.57	190.7	4.84	239.2	6.08
400	10.16	320	8.13	240	6.1	1206.6	30.65	1815.8	46.12	1801.2	45.75	2816.0	71.53	254.9	6.47	319.5	8.12
500	12.70	400	10.16	300	7.62	1509.5	38.34	2271.1	57.69	2254.3	57.26	3522.9	89.48	319.1	8.10	399.9	10.16

- 天井取り付けは、必ず資格のある技術者が行ってください。詳しくは、販売店にお問い合わせください。お客様ご自身でプロジェクタを取り付けることは、お勧めしません。
- プロジェクタは安定した、平坦な場所に設置してください。プロジェクタが落下すると、ケガや故障の原因となります。
- 温度が高温になりすぎたり、低温になりすぎたりする場所では、プロジェクタをご使用にならないでください。このプロジェクタは、気温が摂氏 5 度から 40 度の環境でご使用ください。
- プロジェクタを濡らしたり、ゴミや煙が立ちやすい場所でご使用になると、スクリーンの故障の原因となります。
- プロジェクタの通気口を塞がないでください。熱を適切に排気するには、適度な通気を確保することが大切です。通気口を塞ぐと、プロジェクタの故障の原因となります。

レンズシフトの調整範囲

レンズシフトの調整範囲は下記の表のとおりですが、条件により異なります。

下記の図は標準レンズを使用した場合です。



接続する

準備

信号ソースをプロジェクタに接続する際には、次の点を確認してください。

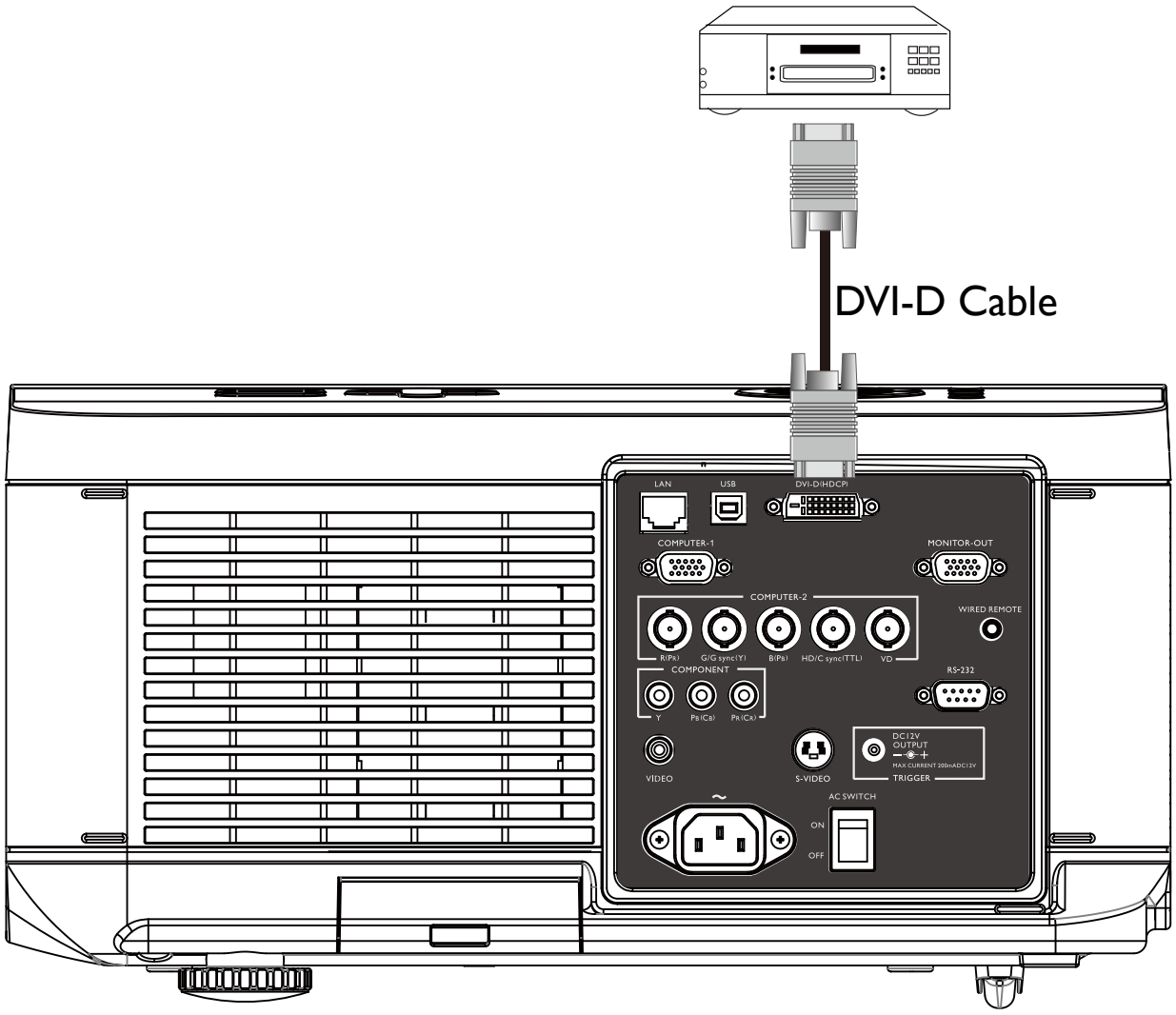
1. 接続を行う前にすべての機器の電源をオフにします。
2. 各ソースに合った、正しい種類のプラグが付いたケーブルのみご使用ください。
3. ケーブルのプラグがすべて装置のジャックにしっかりと接続されていることを確認してください。

プロジェクタによっては、次の接続図に示すすべてのケーブルが同梱されていない場合があります（7 ページ参照パッケージ内容してください）。ほとんどのケーブルは電気店でお買い求めいただけます。

DVI-D デバイスの接続

DVI-D（Digital Visual Interface）は DTV チューナー、DVD プレーヤー、ディスプレイなど、対応するデバイスとデバイスの間を 1 本のケーブルで未圧縮のビデオデータを転送することができます。この方式を使用すると、非常に優れたデジタル映像とオーディオをお楽しみいただけます。プロジェクタと DVI-D デバイスを接続するには、DVI-D ケーブルをお使いください。

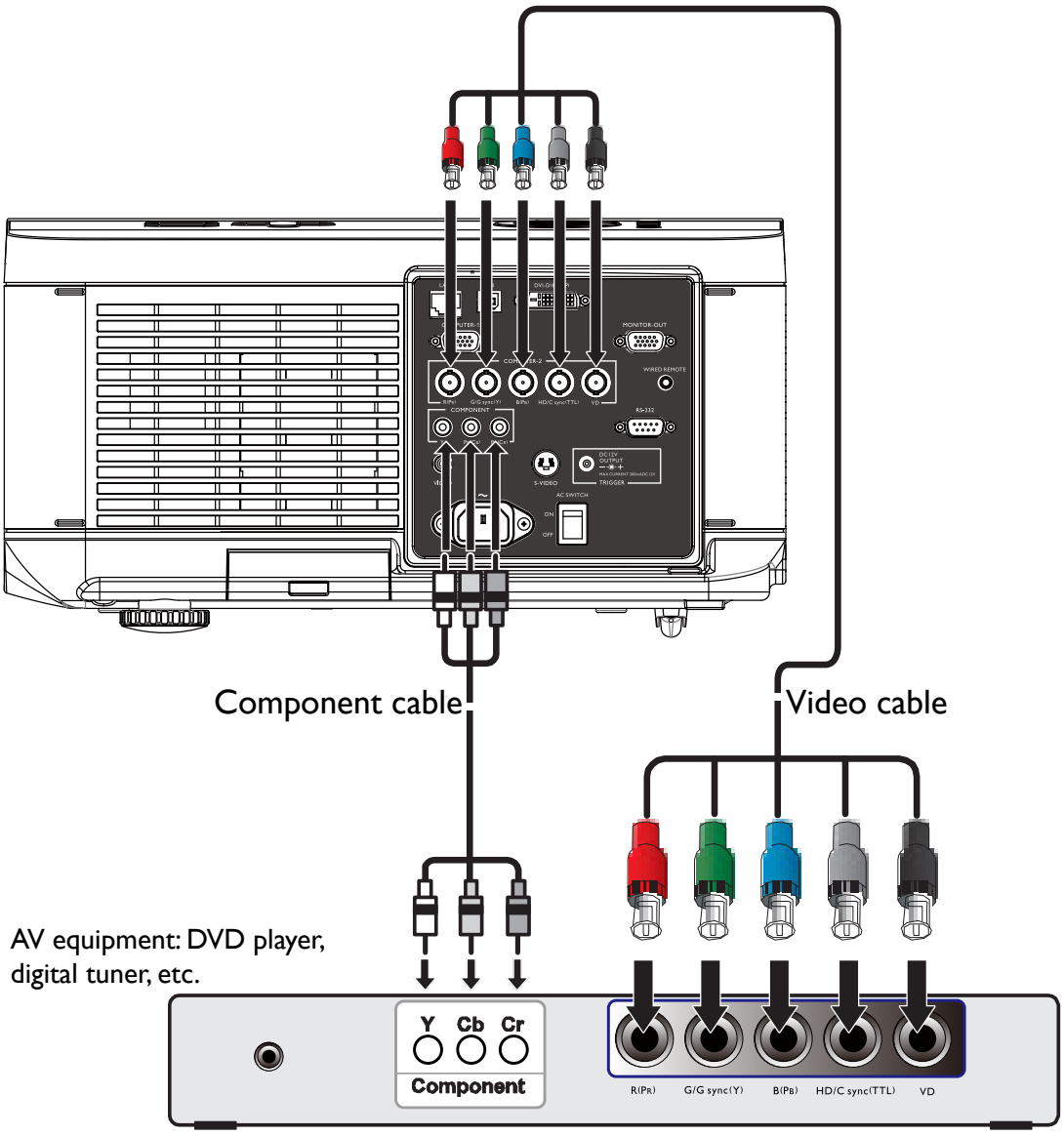
DVI-D 信号に合った正しい入力タイプの装置をお選びください。



DVI-D デバイス：DVD プレーヤー、デジタルチューナーなど。

コンポーネントビデオ機器との接続

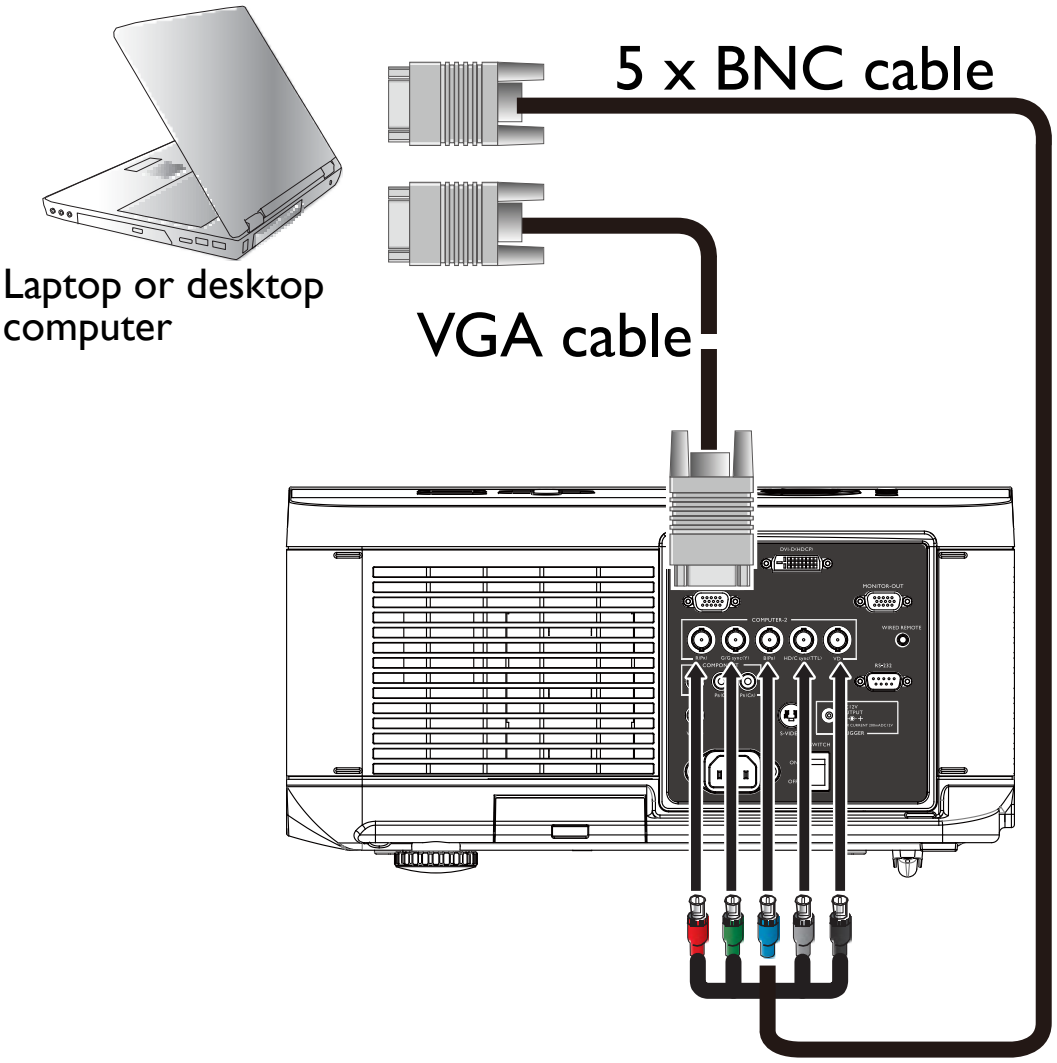
ケーブルと端末の色は必ず同じでなければなりません。ビデオ出力装置を接続するために、BNC タイプのコンポーネントビデオ ジャックが備えられています。



- コンポーネントビデオ接続方式によりプロジェクタとビデオソース装置をすでに接続してある場合は、コンポジットビデオ接続方式でこの装置を接続すると不要に 2 つ目の接続が生じ、画質が悪くなるため、この装置を接続する必要はありません。
- 電源をオンにしても選択したビデオイメージが表示されず、正しいビデオソースが選択されている場合、ビデオソースの電源がオンになっていて正しく動作していることを確認してください。また信号ケーブルが正しく接続されていることを確認します。

コンピュータの接続

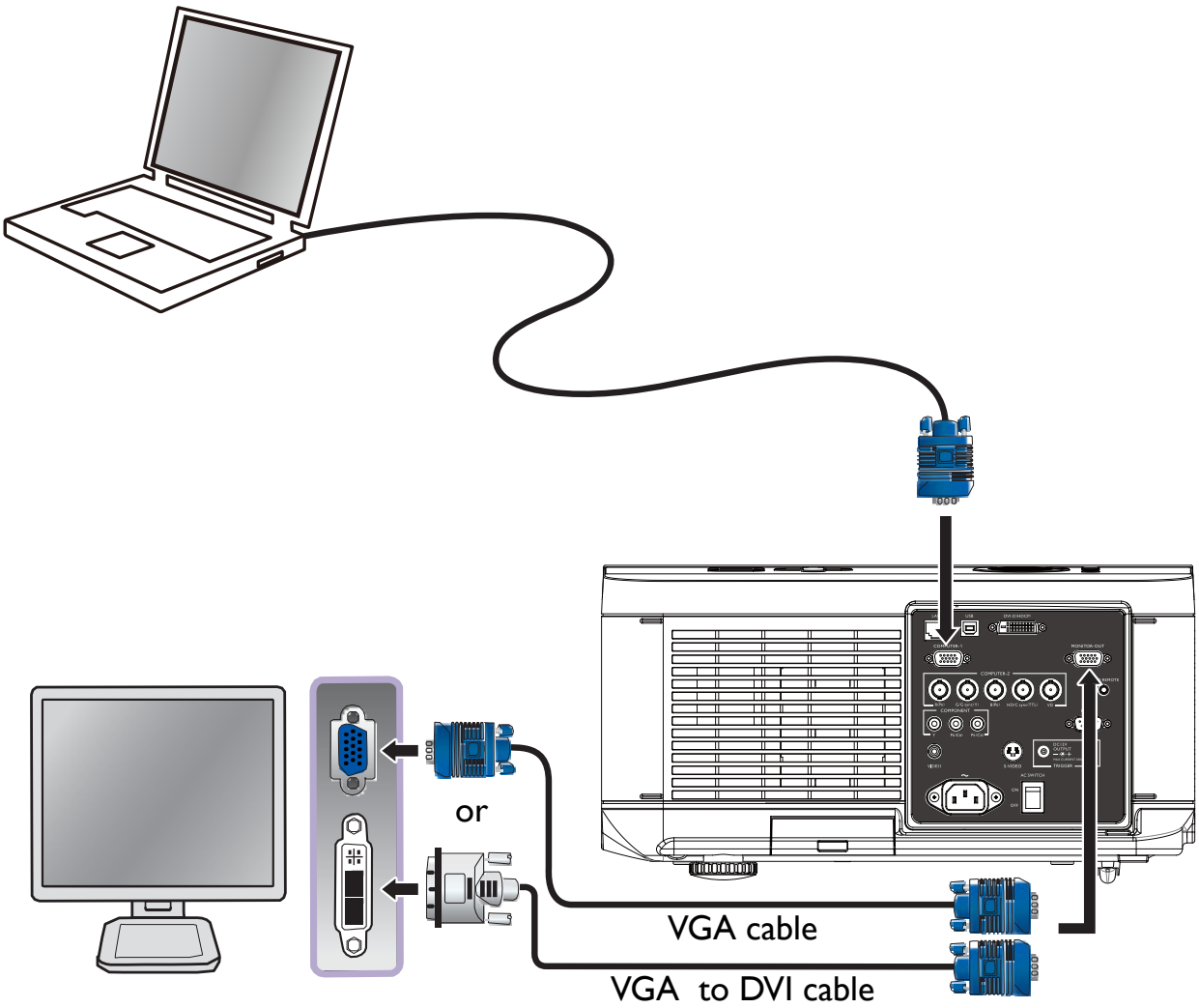
VGA ケーブルを使ってプロジェクタとコンピュータを接続します。



多くのノートパソコンでは、プロジェクタを接続すると外付けビデオポートはオンになりません。通常 Fn + F3 や CRT/LCD キーなどを使用すると、外部表示のオン / オフを切り替えることができます。ノートパソコン上で CRT/LCD と記された機能キーか、モニタの記号が表示された機能キーの位置を確認してください。Fn と記号が記された機能キーを同時に押します。ラップトップのキーの組み合わせについては、ラップトップの説明書をお読みください。

モニタの接続

プレゼンテーションをスクリーンとは別にモニタを使って近くで見たい場合は、プロジェクタに **MONITOR OUT** が付いている場合は、プロジェクタの **MONITOR OUT** 信号出力ジャックにモニタを繋いでください。



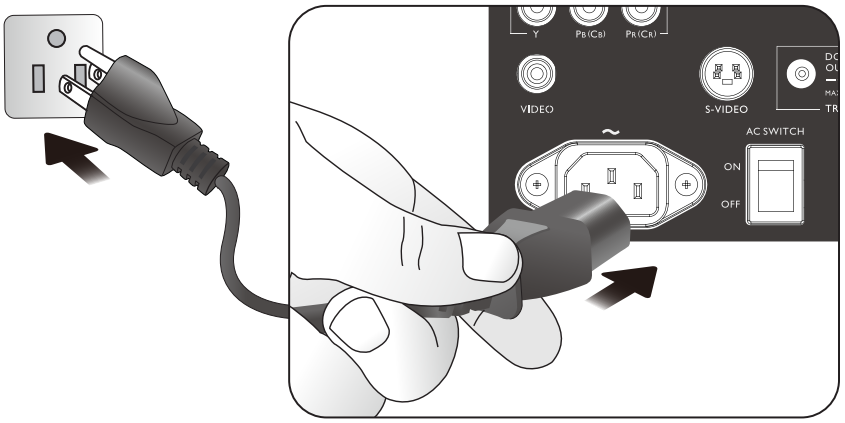
- MONITOR OUT は、PC ジャックに正しく D-Sub 入力信号が送られなければ機能しません。
- プロジェクタがスタンバイモードになっているときにこの接続方式を使用するには、「その他設定」メニューで「スタンバイ モニタ出力」機能がオンになっていることを確認してください。

プロジェクタの使用方法

準備

1. プラグを電源に接続し、接続されている装置をすべてオンにしてください。
2. まだ電源に接続されていない場合は、同梱されている電源ケーブルをプロジェクタの背面にある AC コネクタに挿入します。
3. 電源コードをコンセントに差し込んで、壁のスイッチをオンにします。

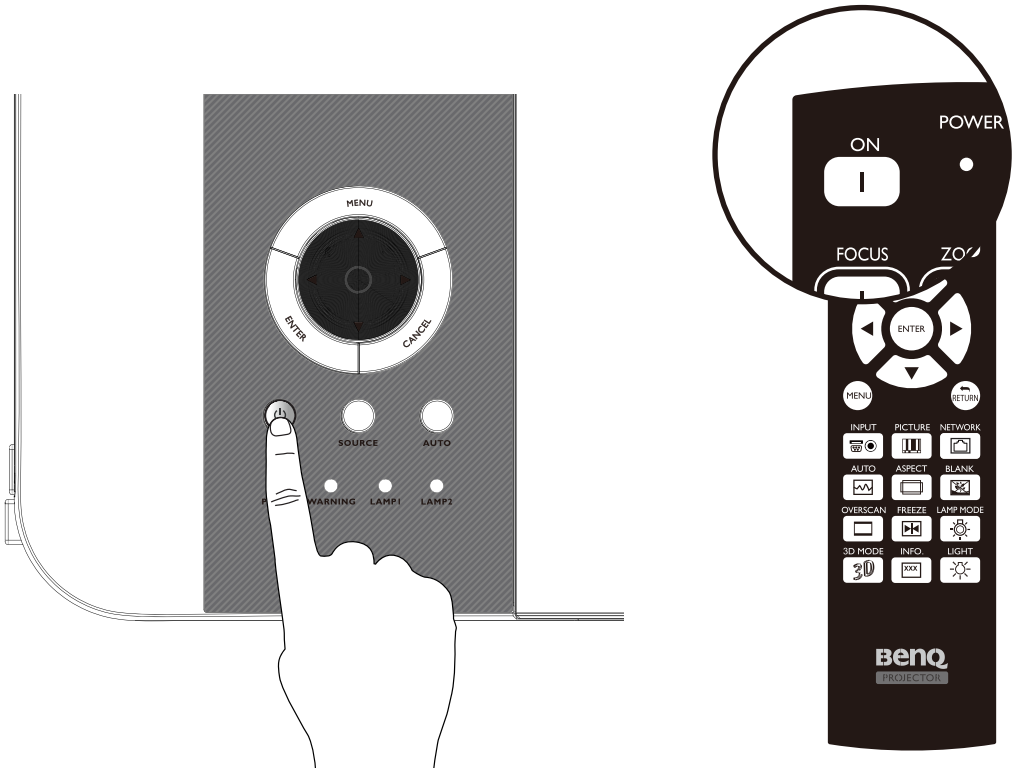
電気ショックや火災の原因となりますので、このデバイスでは付帯されていたアクセサリ（電源ケーブルなど）だけをご使用ください。



装置の電源をオン / オフにする

プロジェクタを正しく配置して、電源ケーブルとその他の接続を完了したら、電気ショックや火災の原因となりますので接続が正しくできているか、また正しく電源が入っているかを確認することが大切です。プロジェクタの電源を入れるには、次の説明をお読みください。

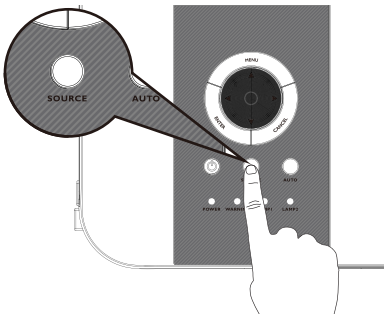
1. 主要電源をオンにして電源を入れると、電源ライトが赤く点灯します。
2. プロジェクタの POWER ボタンを押すか、リモコンの ON ボタンを押すとプロジェクタが起動 します。電源とランプの LED が緑色に点滅して、冷却ファンが作動し始めます。
3. プロジェクタをウォームアップするまで、投映画像がスクリーンに数秒間映し出されます。
4. 電源 LED が緑色に点灯したら、プロジェクタを使用することができます。
   注意：ウォームアップ中はプロジェクタはどのようなコマンドにも応答しません。
5. LED が点滅したままの場合は、スタートアップで問題が生じた可能性があります。
   66 ページトラブルシューティングをお読みください。



シャットダウン後すぐにプロジェクタを再起動しようとすると、冷却のためにファンが数分間作動する場合があります。ファンが停止したら再び ⏻ 電源を押してプロジェクタを起動してください。このとき電源インジケータがオレンジ色に点灯します。

入力ソースの選択

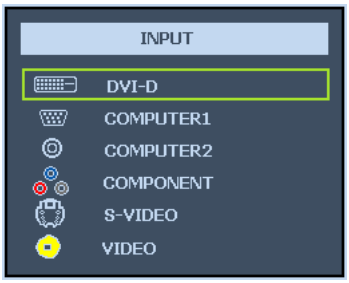
このプロジェクタは同時に複数の装置と接続することができます。プロジェクタをオンにすると、プロジェクタを最後にシャットダウンしたときに使用されていた入力ソースに接続しようとします。



ビデオソースを選択するには：

入力ソースはプロジェクタのコントロール パネルかリモコンから選択できます。任意の入力ソースを選択するには、次の説明をお読みください。

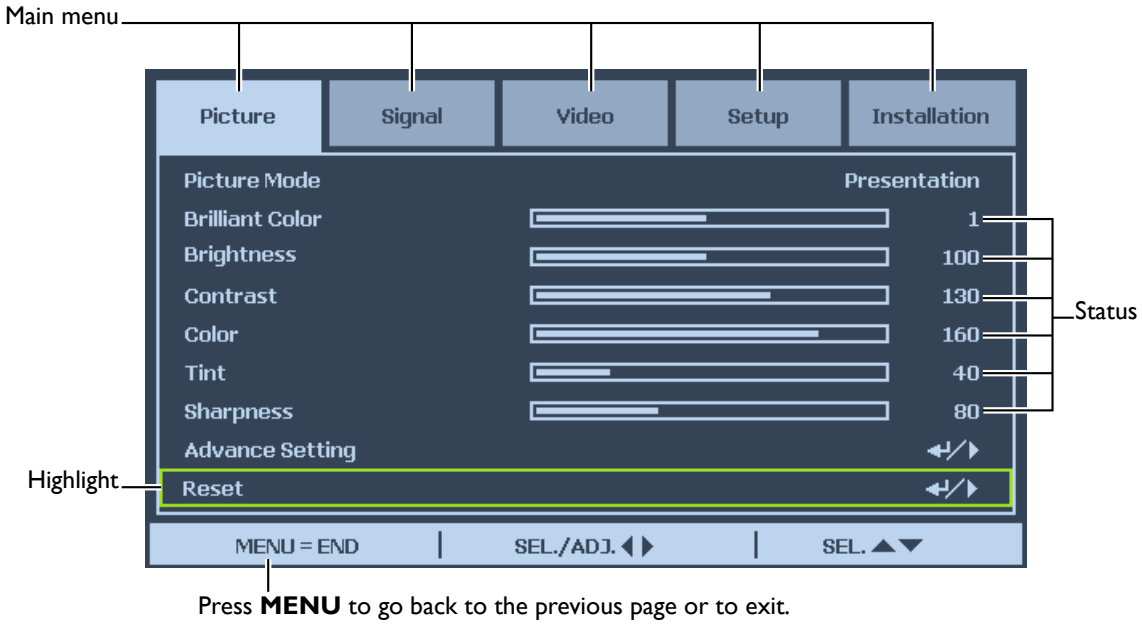
1. リモコンかコントロール パネルの INPUT キーを押すと、入力メニューが表示されます。
2. ▲ / ▼ キーを使って好きな入力ソースを選択してください。
3. ENTER キーを押して入力ソースを確定してください。入力信号が検出され、投映画像が表示されるまで数秒かかります。
   現在の入力ソースを維持するには、RETURN キーを押して投写画像に戻ってください。



プロジェクタに信号を自動検出させるには、
「表示設定」 >「自動入力サーチ」メニューの「入」を選択します。

メニューの使用方法

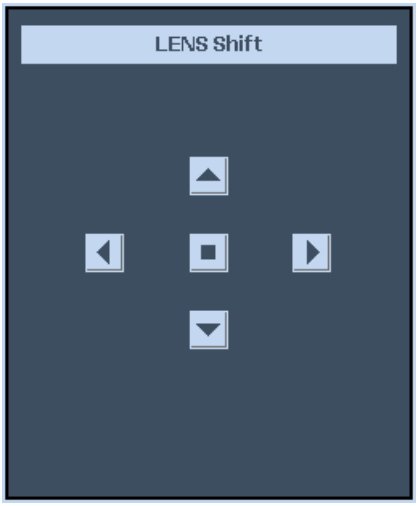
このプロジェクタには多言語の OSD が用意されており、調整や設定を細かく行うことができます。以下に OSD メニューの概要を紹介します。
OSD メニューを使用するには、OSD メニューの言語を選択してください。



投映画像の調整

画像の位置調整

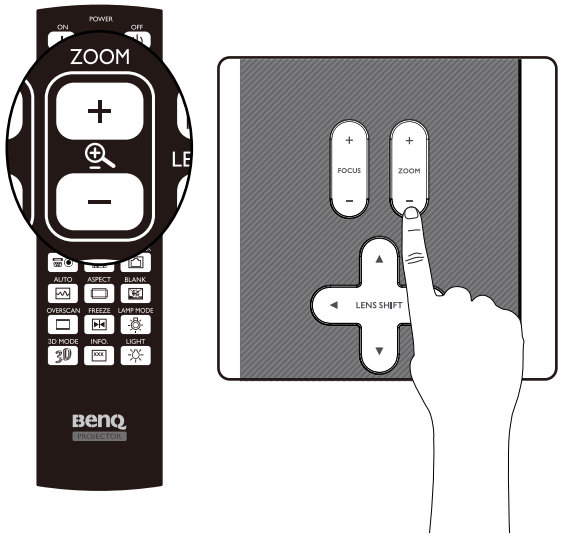
投映画像の位置とサイズは、コントロールパネルまたはリモコンを使って手動で調整できます。次の説明に従って、手動で画像の位置を調整してください。

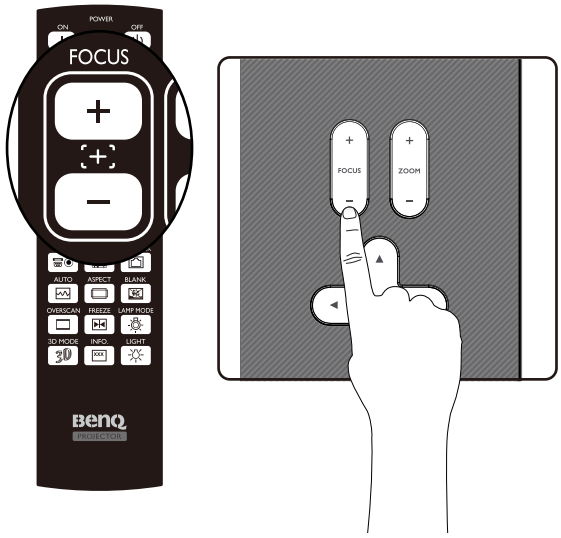


1. プロジェクタの LENS SHIFT キーを使って方向を設定します。または、リモコンの LENS SHIFT キーを押してレンズシフト画面を開きます。
2. 方向キーを押して画像の位置を調整してください。方向キーを放すと、カーソルの中央が調整されます。

画像サイズと明瞭さの微調整

1. 投映画像を自在に調整するには、コントロールパネルかリモコンの ZOOM+ ボタンまたは ZOOM- ボタンを押します。
2. 画像をシャープにするには、コントロールパネルかリモコンの FOCUS+ ボタンまたは FOCUS- ボタンを押します。

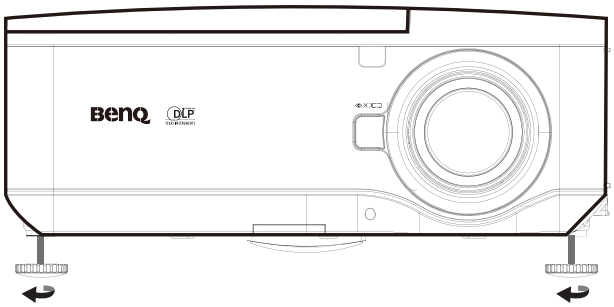




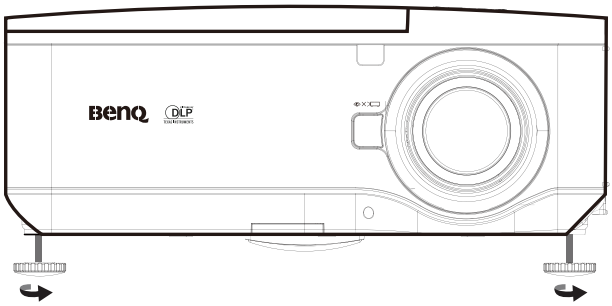
投映角度の調整

プロジェクタの底部には 2 個の調整用脚があります。投映角度を変更したい場合は、これを使って調整します。適切な角度になるように脚を調整してください。

1. アジャスタを右に回すと、プロジェクタの高さが上がります。

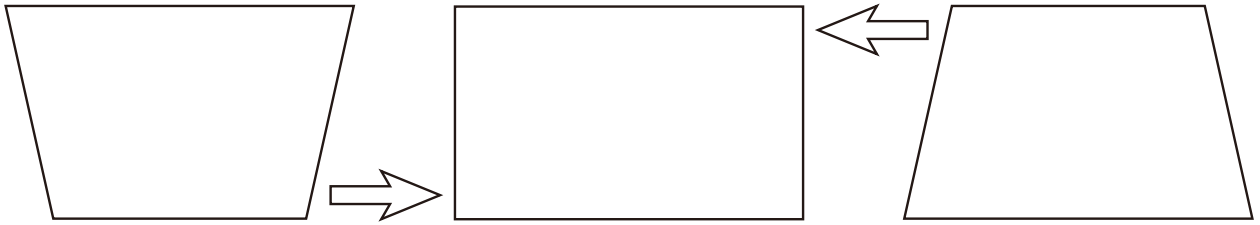


2. プロジェクタの高さを下げるには、プロジェクタを持ち上げてアジャスタを左回りに回します。



画像の歪みの補正する

画像を上から、または下から角度を付けてスクリーンに投写すると、画像が台形に歪みます。このような歪みは、「インストール」>「その他設定」>「台形補正」を選択して台形補正機能を有効にします。◀/▶ ボタンを使って歪みを矯正してください。



キーを繰り返し押すうちに、その最高値または最低値に達すると、画像の形状が変化しなくなります。それ以上はその方向に変更を加えることはできません。

イメージの自動調整

場合によっては、画質を最適化する必要が生じることもあります。これを行うには、リモコンかコントロール パネルの AUTO キーを押すと、最も良い状態になるように、内蔵されたインテリジェント自動調整機能が周波数とクロック数を再調整します。

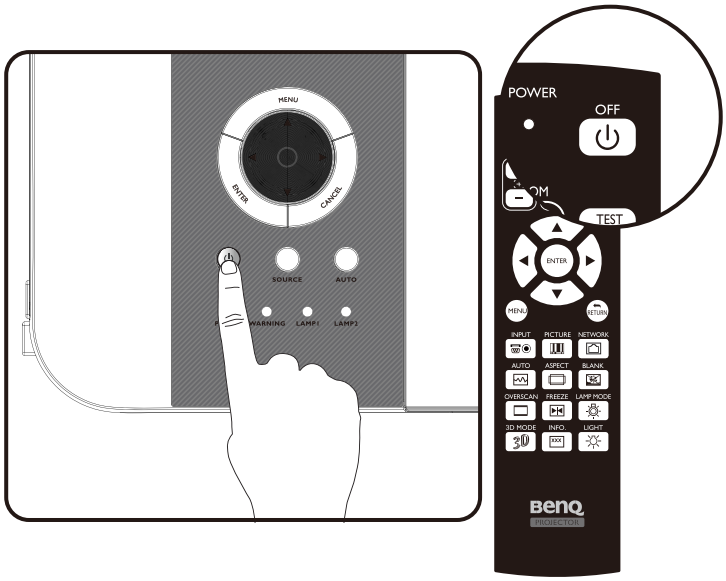
この機能は PC 信号（アナログ RGB）が選択されている場合にしか使用できません。

プロジェクタを終了

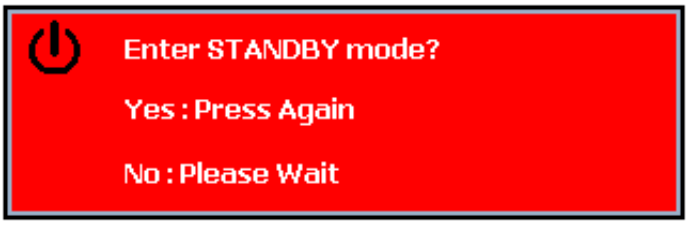
プロジェクタを使い終わったら、正しくシャットダウンしてください。そうしなければ、プロジェクタに不要な負担をかけてしまい故障の原因となります。プロジェクタの電源を切るには、次の説明をお読みください。

- プロジェクタの電源がまだ入っているときにコンセントから電源ケーブルを抜いたり、プロジェクタから電源ケーブルを外したりしないでください。プロジェクタの AC IN コネクタや電源ケーブルのプラグが破損する場合があります。
- 調整や設定変更を行った後メニューを閉じて 10 秒以内に、電源を切らないでください。調整内容や設定内容が無効になり、デフォルト値に戻ってしまう場合があります。

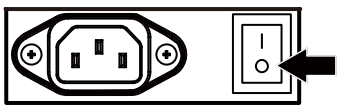
1. コントロール パネルの **POWER** ボタンを押すか、リモコンの「OFF」ボタンを押します。



2. 電源を切ったのを確認するために、再度 **POWER** ボタンまたは **OFF** ボタンを押してください。冷却ファンが作動し続け（冷却期間）、電源 LED がオレンジ色に点滅します。その後、冷却ファンが停止します。



3. 主電源スイッチを（O）の位置に合わせて電源を切ると、プロジェクタが止まります。



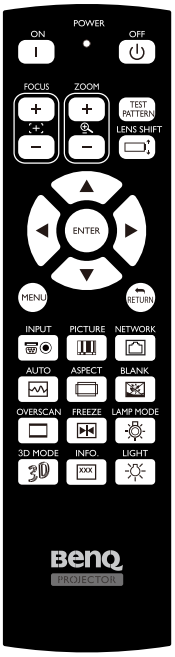
OSD の使用方法

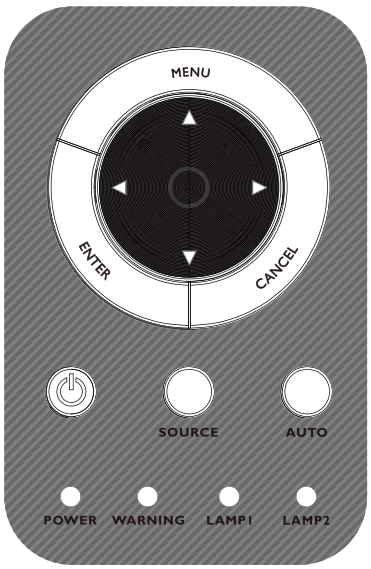
メニューの使用方法

プロジェクタにはオンスクリーン ディスプレイ（OSD）があります。これは、画像を調整したり、設定を変更したりする時に使用します。

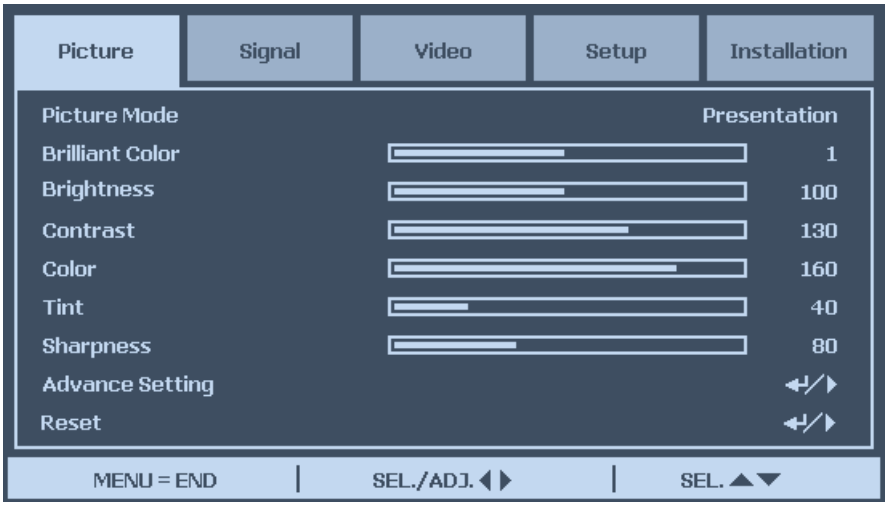
OSD をナビゲートする

OSD をナビゲートしたり、設定を変更したりするには、リモコンまたはプロジェクタの上パネルにあるボタンを使用します。次の図は、リモコンおよびプロジェクタのボタンの説明です。





1. OSD を開くには、OSD コントロール パネルかリモコンの **Menu** ボタンを押します。メニューには全部で 5 個のフォルダがあります。カーソル ◄ または ► ボタンを押すと、第二メニューに移動します。
2. ▲ または ▼ ボタンを押してメニュー アイテムを選択し、◄ または ► を押して設定値を変更します。新しい設定を確定してください。



3. サブメニューを終了するには **CANCEL/RETURN**、メニューを閉じるには **MENU** を押します。

OSD（On-Screen Display）メニュー

次の図を参考にして、設定を探したり、設定範囲を決定したりしてください。
OSD メニューは、選択した信号のタイプにより異なります。

メニュー マップ

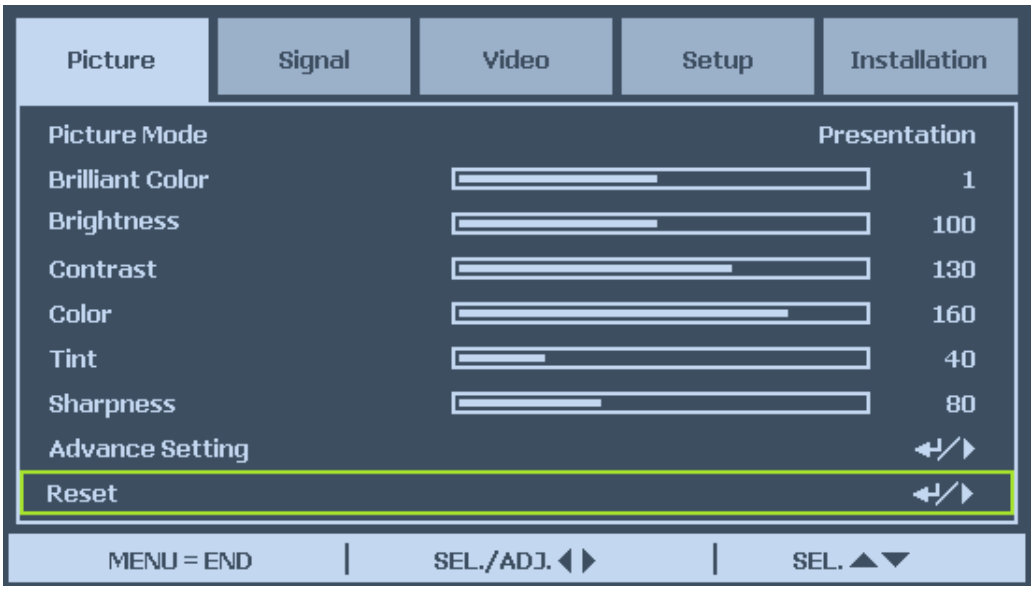
メニュー	サブメニューとコントロール		
映像調整	映像モード	プレゼンテーション 標準 ゲーム シネマ sRGB	
	白伸長		
	明るさ		
	コントラスト		
	色の濃さ		
	色あい		
	シャープネス		
	その他設定	入力信号タイプ	自動、RGB 入力、YCbCr、YPbPr
		色温度	標準、寒色、暖色
		赤	
		青	
		C.M.S.	R/G/B/C/M/Y 色相 / 彩度 / 明度
		フィルム	自動、切
		ノイズ リダクション	レベル 1、レベル 2、レベル 3、切
		ダイナミックブラック	入 / 切
	リセット	確認	いいえ、はい
信号調整	水平位置		
	垂直位置		
	水平位相		
	クロック		
	リセット	確認	いいえ、はい
	解像度	自動、ワイド、4:3	
	自動同期調整	入 / 切	
ビデオ設定	オーバースキャン	入 / 切	
	映像信号方式	自動、PAL（50/60Hz）、 PAL、SECAM、NTSC4.43、 NTSC3.58、PAL-M、PAL-N、 PAL-60	
	ビデオセットアップ	0 IRE、7.5 IRE	
	クローズド キャプション	CC1、切	
表示設定	自動入力サーチ	入、切	
	無信号電源オフ	入、切	
	自動復帰モード	入、切	
	待機状態モード	標準、エコ	
	バックグラウンド	ロゴ、ユーザー設定、ブルーバック、無し	

メニュー サブメニューとコントロール

表示設定	***3D モード***	DLP®Link™	入 / 切	
		DLP®Link™ 同期タイミング反転		
	画面サイズ	標準、フル、4:3、16:9		
	その他設定	セキュリティロック	*入、切*	
		本体ボタンロック	*確認*	*いいえ、はい*
		画面取込み	*取込み*	*いいえ、はい*
			消去	*いいえ、はい*
	壁色補正	*ホワイトボード*		
		黒板		
		切		
		デジタルズーム		
		メッセージング	*入 / 切*	
インストール	***言語選択（Language）***	English、Deutsch、Español、Français、Italiano、Svenska、Português、Русский、繁體中文、简体中文、한국어 、日本語		
	ランプ制御	標準、エコ		
	ランプモード	両ランプ使用、ランプ 1 のみ使用、ランプ 2 のみ使用、両ランプ均等使用		
	投映方式	フロント、リア、天吊り、天吊り + リア		
	ファンモード	標準、高、アップ / ダウン		
	テストパターン	なし、RGB の傾斜路、カラーバー、ステップバー、ボードをチェック、グリッド、水平線、縦線、対角線、水平方向のランプ、垂直ランプ、白		
	その他設定	台形補正		
		イメージリサイズ		
		フィルター警告表示	*切 /100H/200H/500H/1000H*	
		LAN/RS232C	*LAN、RS232C*	
		ネットワーク	*リンク*	*接続*
				切断
			DHCP クライアント	*入 / 切*
			IP アドレス	
			サブネットマスク	
			ゲートウェイ、DNS、確認	*いいえ、はい*
		コミュニケーション：速度	*2400bps/4800bps/9600bps/14400bps/19200bps/38400bps/57600bps/115200bps*	
	初期化	*設定値初期化*	確認	*いいえ、はい*
		フィルター使用時間初期化	確認	*いいえ、はい*
	本体情報	*（例）*		
		入力	*COMPUTER1*	
		入力信号確認	*1024 x 768 60Hz*	
		ランプ時間（残率）	*ランプ 1*	*[1234]h [45]min (60%)*
			ランプ 2	*[0]h [0]min (100%)*
			フィルター使用時間	*[1234]h*
		モデル名	*PW9500*	
		ソフトウェアバージョン	*PW9500WXGA-P02/4S*	

映像調整

あらかじめ設定された映像モードの設定は、映像モード、明るさ、色温度など、映像調整モード メニューに表示されるアイテムを使って変更できます。



映像モード

◄ または► を使ってリストからプリセット値を選択します。
プレゼンテーション：投映画像の明るさを最大にして、プレゼンテーションの投映品質を高めます。
標準：標準画像の設定。
ゲーム：投映画像をシャープにします。
シネマ：投映画像を自然な色合いにします。
sRGB：RGB の純度を最高に上げて、輝度設定に関係なく実物のようなリアルな画像を再現します。このモードは sRGB 対応の正しく調整されたカメラで撮影したフォトを見たり、PC グラフィックや描画アプリケーションを見るのに適しています。映像モードが sRGB にせっていされている場合は、赤、青、色温度を選択することはできません。

白伸長

この機能は新しい色処理アルゴリズムとシステムレベルでの向上を利用して、よりリアルで鮮やかな色を提供すると共に、明るさをより高めることができます。スライドバーを動かして白伸長値を調整してください。

明るさ

◄ または► を使って明るさの値を調整します。

コントラスト

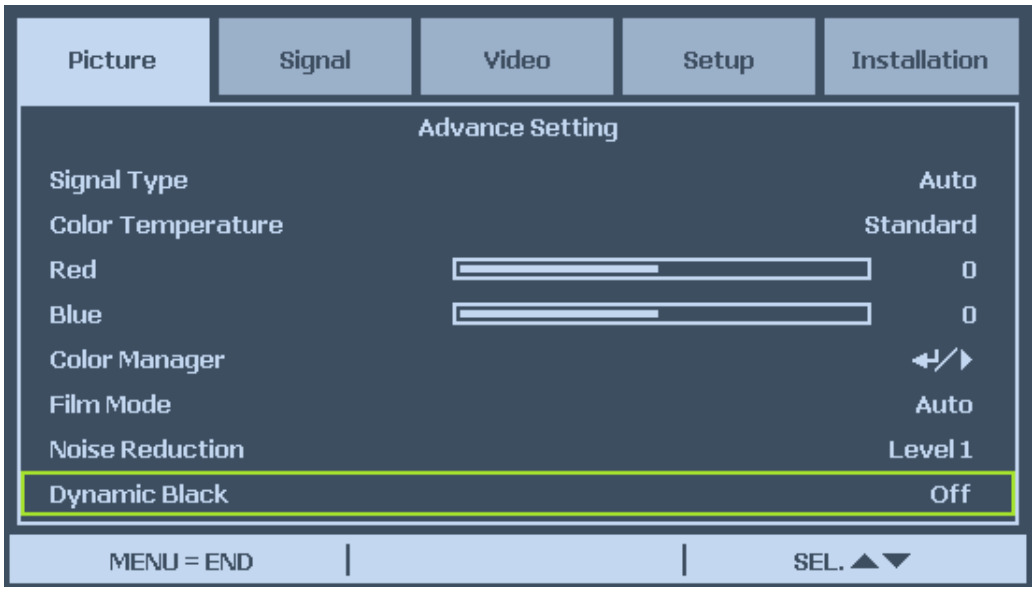
◄ または► を使って明るいエリアと暗いエリアの差を際立たせます。

色の濃さ
◄ または► を使って色の濃さを調整します。

色あい
◄ または► を使って色あいを調整します。

シャープネス
◄ または► を使ってシャープネス値を調整し、色やオブジェクトの境目を目立たせたり、ぼかしたりします。

その他設定



入力信号タイプ
この機能を使って、COMPUTER 1/2、COMPONENT、または DVI-D から入力信号を選択します。

自動
入力信号が RGB であるか、コンポーネントであるかを自動的に識別します。

RGB
入力信号が RGB の時に選択します

YCbCr
入力信号が（480I/480P/576I/576P）の時に選択します。

YPbPr
入力信号が（720P/1080i/1080p）の時に選択します。

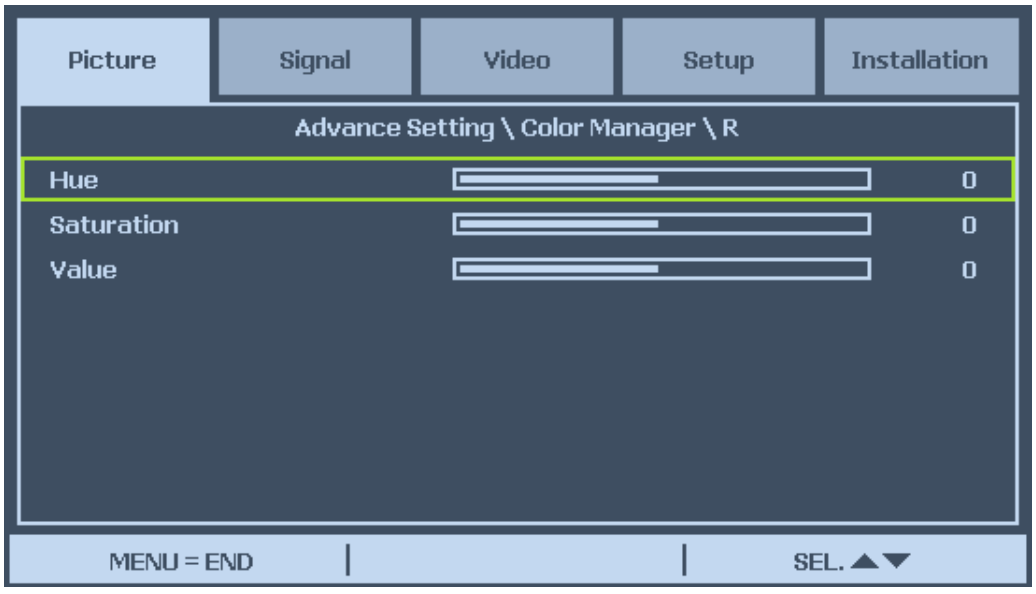
色温度
色尾などを暖色、標準、寒色のいずれかに設定します

色温度について：
用途に応じて「白」とみなされる色合いが多数存在します。白色を表すためによく使用される方法の 1 つに「色温度」があります。色温度の低い白色は赤みがかった白で表示されます。色温度の高い白色は青みがかって表示されます。

映像モードが sRGB に設定されている場合は、色温度は選択できません。

赤
◄ または► を使って、画像の赤を調整します。
青
◄ または► を使って、画像の青を調整します。

C.M.S.
この機能は、色相、彩度、明度を調整することによって、カラーホイールを構成する 6 つの主要色の各色を調整します。



色相
◄ または► を使って、次の主要色の色相を調整します

主要色	色相		
R	マゼンタ	⟷	黄
G	黄	⟷	シアン
B	シアン	⟷	マゼンタ
C	緑	⟷	青
M	青	⟷	赤
Y	赤	⟷	緑

彩度
◄ または► を使って、主要色の彩度を調整します。選択した色の濃淡を調整します。
明度
◄ または► を使って、主要色の明度を調整します。選択した色の明るさや暗さを調整します。

フィルム
この機能は、ムービーなどを DVD 装置から 24fps で投映すると、高画質で 再生されます。
自動： フィルムが自動的に検出されます。
切： フィルムは検出されません。

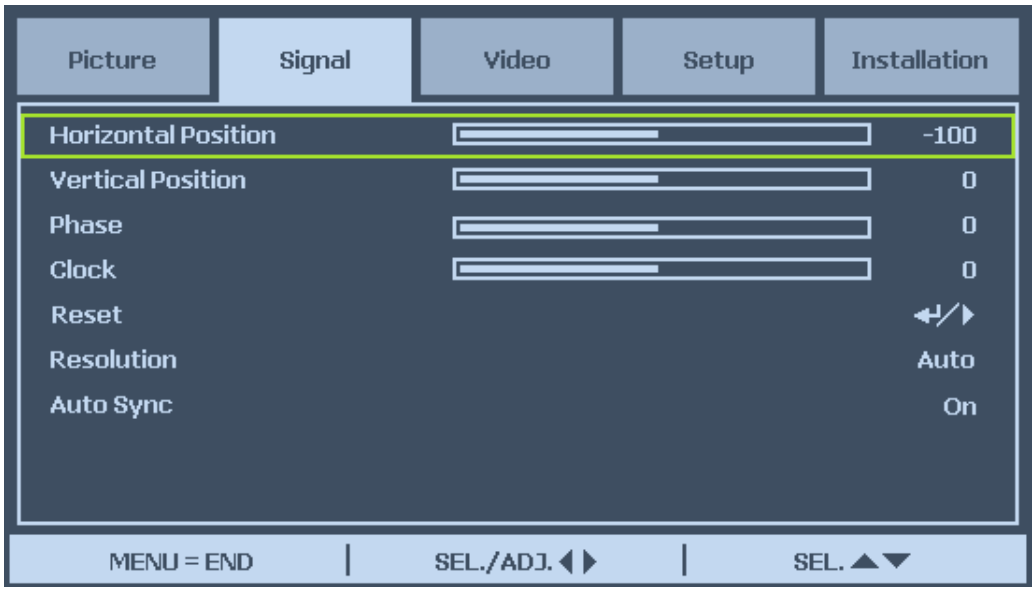
フィルムには次のような入力と信号があります。
- COMPUTER/COMPONENT 1、2 または COMPONENT 入力から 480I/576I/1080I
- S-Video または Video 入力の全信号

ノイズ リダクション
この機能は、画像の不自然さや色全体のノイズをできるだけ消して、高品質な画像を投影します。切からレベル 3 まで、画像が鮮明になるように設定してください。

ダイナミックブラック
この設定を「入」に設定すると、投映画像の黒レベルを向上させます。

リセット
設定と調整内容を初期値に戻します。

信号調整



水平位置
画像が左右に動きます。

垂直位置
画像が上下に動きます。

水平位相
クロック位相を調整したり、ビデオノイズ、ドット、混線を軽減します。

クロック
コンピュータ画像を調整したり、垂直線を除去したりします。

リセット
すべての変更内容をリセットし、初期値に戻します。

解像度
入力信号の解像度を自動識別するオプションがあります。

自動	自動的に入力信号の解像度を識別します。
ワイド	ワイド信号を受信する場合に設定します。
4:3	標準 TV スクリーン（4:3）、幅 4 に対し高さ 3 を維持します（スクリーン サイズは関係ありません）。

自動同期調整
プロジェクタの電源が切ってあるときに、または入力信号がコンピュータに切り換えられたとき、または接続されたときに、自動的に画像を最適化します。自動同期調整を切にすると、自動同期調整は自動で行われません。

画像によっては、自動同期調整が完了するまでに時間がかかる場合があります。最適な状態にするには、手動で調整してください。

ビデオ



オーバースキャン
画像の端が正しく表示されない場合があります。この機能を使って、画像の端を切り取ることができます。

この機能は、COMPUTER 1/2、COMPONENT、DVI-D 入力で 480p、576p、720p、1080i、1080p の時に使用できます。

映像信号方式
プロジェクタが信号を受信できない、または画像が鮮明に表示されない場合を除き、自動に設定してください。選択可能な信号方式は、自動、PAL、SECAM、NTSC4.43、NTSC3.58、PAL-M、PAL-N、PAL-60 です。

映像信号方式は、Video または S-Video モードにしか設定できません。

ビデオセットアップ
ブラックレベルを 0 IRE または 7.5 IRE に設定します。
この機能は、COMPUTER 1/2、COMPONENT、NTSC3.58、Video、S-Video 入力からの 480I で使用できます。

クローズド キャプション
必要に応じて CC1 または切に設定してください。

この機能は、次のような場合に使用できます。
- 信号が NTSC 3.58 のとき。
- プログラムや映像によっては、クローズドキャプションに対応していない場合があります。

表示設定



自動入力サーチ
電源を入れたときに、プロジェクタが自動的に入力信号を検出し、その入力モードに切り替えます。「入」に設定すると有効になり、「切」に設定すると 無効になります。

無信号電源オフ
15 分以上入力信号が検出されなければ、自動的に待機状態モードに入ります。「入」に設定すると有効になり、「切」に設定すると無効になります。

自動復帰モード
電源コードをコンセントに繋ぐか、ブレーカーを上げると、自動的に電源が入ります。「入」に設定すると有効になります。

この機能は、次の条件でアクティベートできます
- メインの電源スイッチが「入」になっているとき。
- プロジェクタは電源コードを抜くか、ブレーカーを落とすかして、電源を切っておく必要があります。次回電源コードを繋ぐか、ブレーカーを上げたときに、自動復帰モードが有効になります。

待機状態モード
節電のために、プロジェクタを待機状態モードにします。次のように、2 つの待機状態モードがあります。

標準
待機状態モードでは、モニタ出力、LAN/RS232C、ネットワーク機能が有効になります。
エコ
モニタ出力、LAN/RS232C、ネットワーク機能が無効になります。

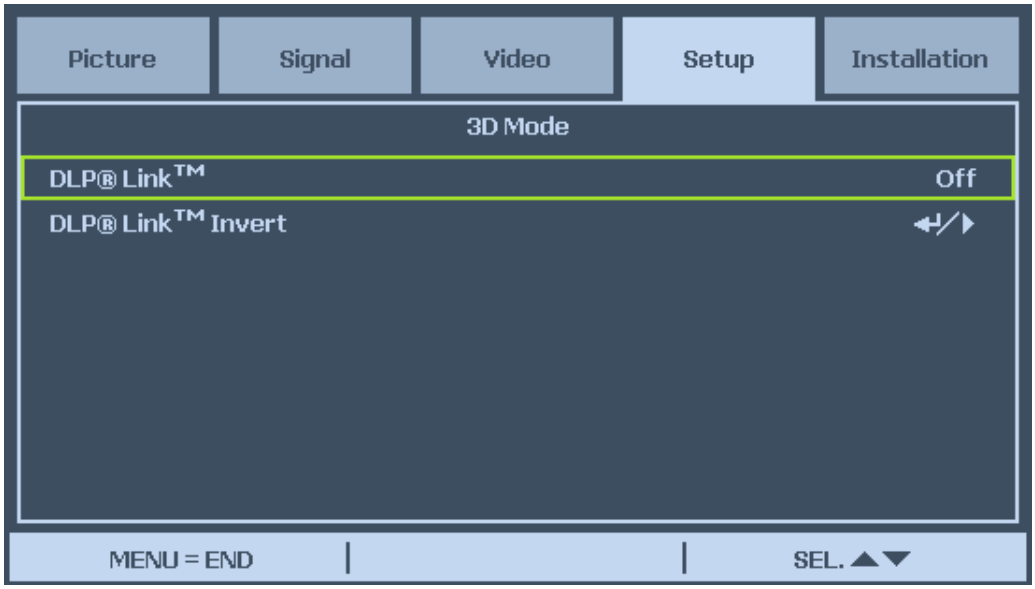
待機状態モードがエコに設定されているときには、HTTP サーバー機能、MONITOR OUT、RS232C 制御が無効になります。これらの機能を使用する前に、設定を確認してください。

バックグラウンド
入力信号がないときに、ディスプレイをブルーバック / ブラックバック 、ロゴ、キャプチャした画像にします。

3D モード：
このプロジェクタの 3D モードは、DLP® Link™ システムに対応しています。3D 画像を見るには、左目用と右目用の画像を表示し、プロジェクタのレンズから照射される制御信号と同期する 3D LCD シャッターメガネが必要です。3D 画像を見る前に、リモコンの 3D MODE ボタンを押すか、矢印キーを使って 3D モードを表示し、3D モードを設定してください。

- 次の条件に該当する方は、3D 鑑賞を控えてください。
  - 6 歳以下のお子様。
  - 感光性、心臓病の病歴をお持ちの方、または健康状態が良くない方。
  - 疲労がたまっている、または睡眠障害をお持ちの方。
  - 薬物またはアルコール障害をお持ちの方。
- 正常な状態であれば、3D 画像は見ても安全です。ただし、場合によっては不快感を感じる方もいらっしゃいます。2008 年 12 月 10 日に改正された 3D コンソーシアム発行のガイドラインをお読みください。30 分または 1 時間映像を見た後は、最低でも 5 分から 15 分の休憩を取ってください。

DLP® Link™
3D コンテンツを見るには DLP® Link™ を「入」に、見ない場合は「切」に設定してください。



DLP® Link™ を「入」に設定すると、台形補正、画面サイズ、イメージリサイズは完全に機能しないか、全く使用することができません。

DLP® Link™ 同期タイミング反転
映像を左目用と右目用に設定します。

- 3D 画像を見るには、入力装置がフィールド シーケンシャル フォーマットに対応している必要があります。
- プロジェクタ、3D 再生装置、3D LCD メガネが正しく設定されていなければ、目が疲れたり、3D で画像を見れなかったりします。
- できるだけ良い状態で信号を受信するには、できるだけスクリーンの正面で 3D 画像を見ることをお薦めします。3D LCD メガネの取扱説明書をお読みください。

画面サイズ
標準、フル、4:3、16:9 の中から選択してください。

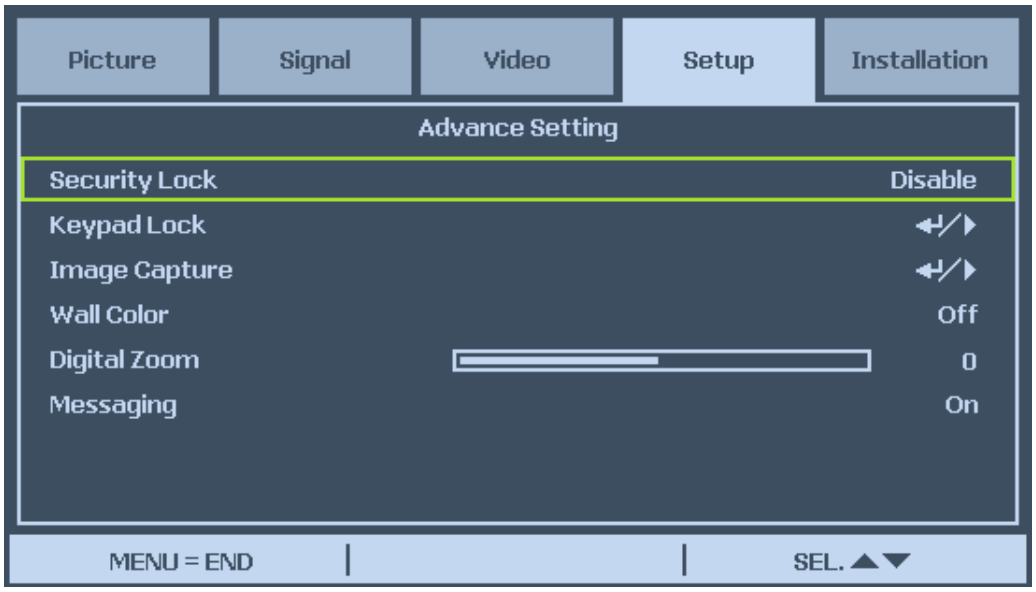
標準
画像はできるだけスクリーンの縦横いっぱいになるように、本来のサイズで表示されます。

フル
プロジェクタの解像度によって、スクリーンいっぱいに表示されます。

4:3
プロジェクタの解像度によって、縦と横の比率が 4:3 になるように、スクリーンいっぱいに表示されます。

16:9
プロジェクタの解像度によって、縦と横の比率が 16:9 になるように、スクリーンいっぱいに表示されます。

その他設定



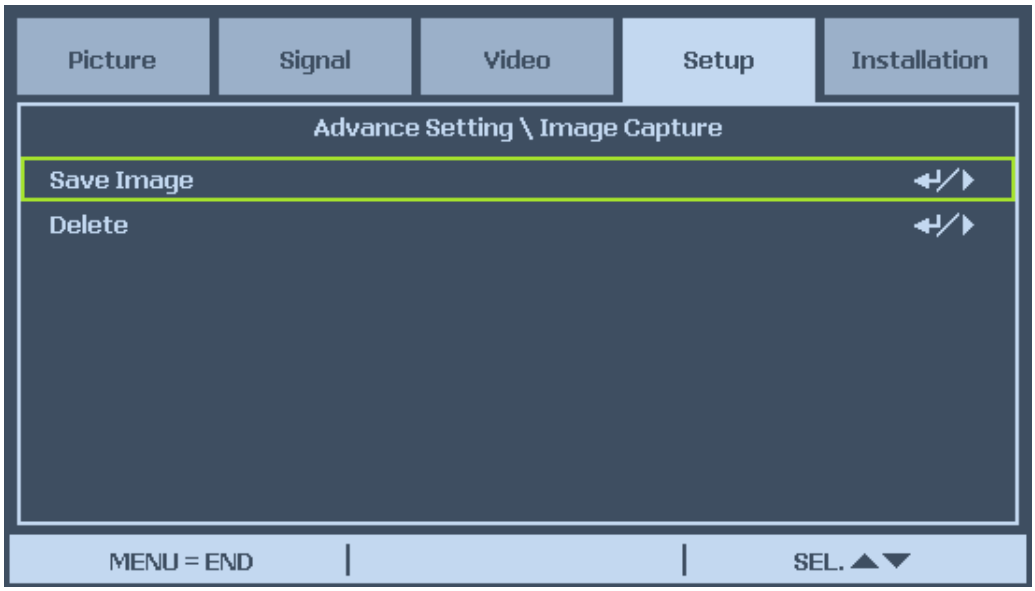
セキュリティロック
プロジェクタを不正に使用されないようにロックします。この機能を有効にすると、プロジェクタの電源を入れるたびにパスワードを入力しなければなりません。

- パスワードは、資格のあるユーザーだけが見られる安全な場所に保管してください。
- パスワードを無くしたり、忘れたりした場合は、BenQ 認証の正規ディーラーまたはサービスセンターにお問い合わせください。

本体ボタンロック
プロジェクタのコントロールパネルを不正に使用されないように、プロジェクタのボタンをロックします。
いいえ：この機能を切にします。
はい：ON/STANDBY ボタン以外のプロジェクタのすべてのボタンをロックします。
本体ボタンロック解除：プロジェクタのコントロール パネルの ▼ を約 5 秒間押し続けます。

- プロジェクタが次のような状態の時には、本体ボタンロックは解除できません。
  - メニューが表示されているとき。
  - プロジェクタが待機状態モードのとき。
  - プロジェクタがウォームアップ中のとき。
  - 入力信号が変わったとき、または自動同期調整機能が作動しているとき。
  - 静止機能が作動しているとき。
  - セキュリティロック画面が表示されているとき。
- この本体ボタンロックは、リモコン機能には影響しません。

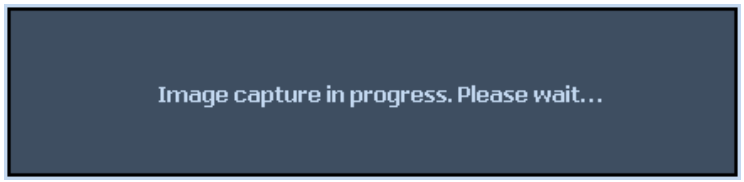
画面取込み
RGB 信号で投映されている画像を取り込み、スタートアップ画像、または信号が検出されないときの背景画として設定します。



取込み
画像を取り込むには Enter ► を押し、画像取り込みを実行するには「はい」を押します。



画像の取り込みには約 1、2 分かかります。進行状況は画面に表示されます。
画像取り込みが完了すると、メッセージ画面も閉じられます。

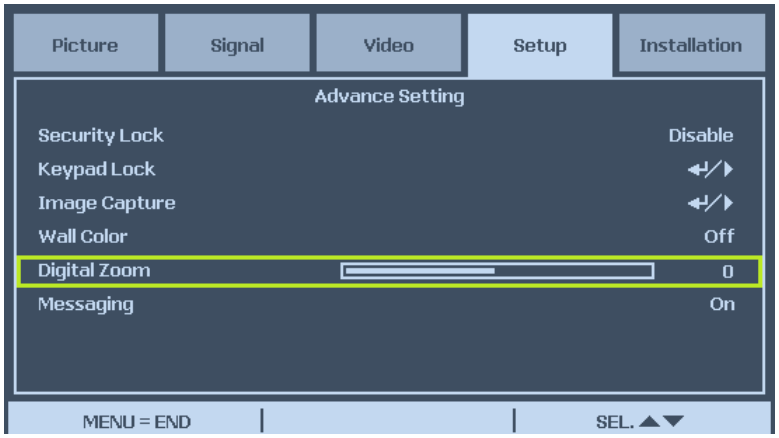


消去
取り込んだ画像を消去するには、Enter を押すか、または ► を押して「はい」を選択します。

- 画像は、入力装置が COMPUTER/COMPONENT 1、2 か DVI-D で、非インタレース信号のときにしか取り込めません。Video または S-Video からの画像は取り込めません。
- 取り込み画像は、WXGA なら 1280x800、XGA なら 1024x768 など、本来の解像度でなければなりません。画面サイズは「標準」に設定してください。
- 画像は 4 セグメントのカラーホイールか 6 セグメントのカラーホイール用に取り込むことができます。各カラーホイールには 1 個の画像を保存できます。
- 画像取り込み中に入力信号を切り換えると、取り込みに失敗する場合があります。

壁色補正
スクリーンを使わずに、色付きの壁やボードに画像を投映することができます。ホワイトボード：ホワイトボードに画像を投映します。

デジタルズーム
画像サイズを縮小するには、矢印キー ◄ を使います。逆に、拡大するには、矢印キー ► を使います。



メッセージング
投映画像のメッセージを消します。「入」に設定するとメッセージが表示され、「切」に設定すると非表示になります。
- 入力源の状態。
- STANDBY ボタンまたは POWER ボタンを押したときに待機状態モードに入るメッセージです。
- 自動同期調整。
- フィルタを掃除してください。
- ランプの寿命警告。

インストール

「インストール」タブには、方向、リモートセンサーのモードなどの設置条件に関するメニューオプションがあり、「表示設定」メニューから開くことができます。



次の表は、すべての機能とその説明をまとめたものです。

言語選択（Language）

使用する OSD 言語を選択します。

ランプ制御

このプロジェクタは、デュアルランプ投映が可能であり、目的に応じて 4 つのランプ モードから選択することができます。「ランプ制御」を選択し Enter を押すと、ランプ制御オプションが表示されます。



ランプモード

「標準」を選択すると、明るく、鮮明な画像を投映できます。「エコ」を選択すると、ランプの寿命を延長できるほか、ファンのノイズも軽減できます。

両ランプ使用	最大限に明るくするために、両方のランプを使用します。
ランプ 1 のみ使用	プロジェクタのランプ 1 が選択されます。ランプ 1 が切れると、ランプ制御が自動的に ランプ 2 に切替わります。
ランプ 2 のみ使用	プロジェクタのランプ 2 が選択されます。ランプ 1 が切れると、ランプ制御が自動的に ランプ 2 に切替わります。
両ランプ均等使用	使用量がより少ない方のランプが選択されます。

ランプを保護するために、切り替えに数分かかる場合があります。

投映方式
投映方式をどのように表示するかを選択できます。次の選択肢の中から選択してください。

フロント
標準の正面投映です（デフォルト設定）。

リア
標準の背面投映です。画像を反転させることで、スクリーンの背後から画像を投映できます。

天吊り
正面からの天吊り設置です。画像を反転させることで、天井に取り付けることができます。

天吊り + リア
スクリーンの背後からの天吊り設置です。画像を反転させ、なおかつ逆転させることで、スクリーンの背後からの天井に取り付けることができます。

ファンモード
設置条件により、内部の冷却ファンの速度を設定できます。

標準
1500 メートル（5000 フィート）以下の場所に設置する場合は、プロジェクタを海抜「標準」 に設定します。

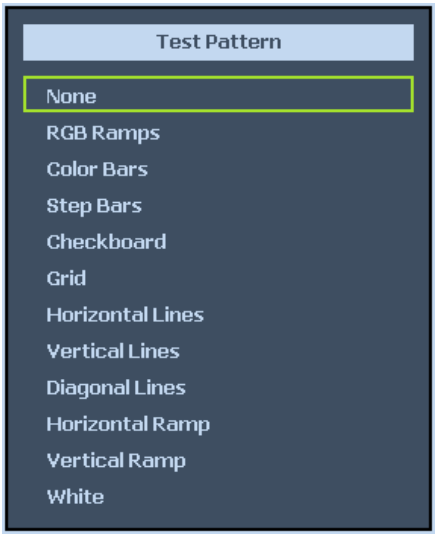
高
プロジェクタを海抜 1500 メートル（5000 フィート）以上の場所に設置する場合は、「高」に設定します。

アップ / ダウン
プロジェクタを 10 度以上角度を付けて設置する場合は、「アップ / ダウン」 に設定します。ファンが高速で回転します。

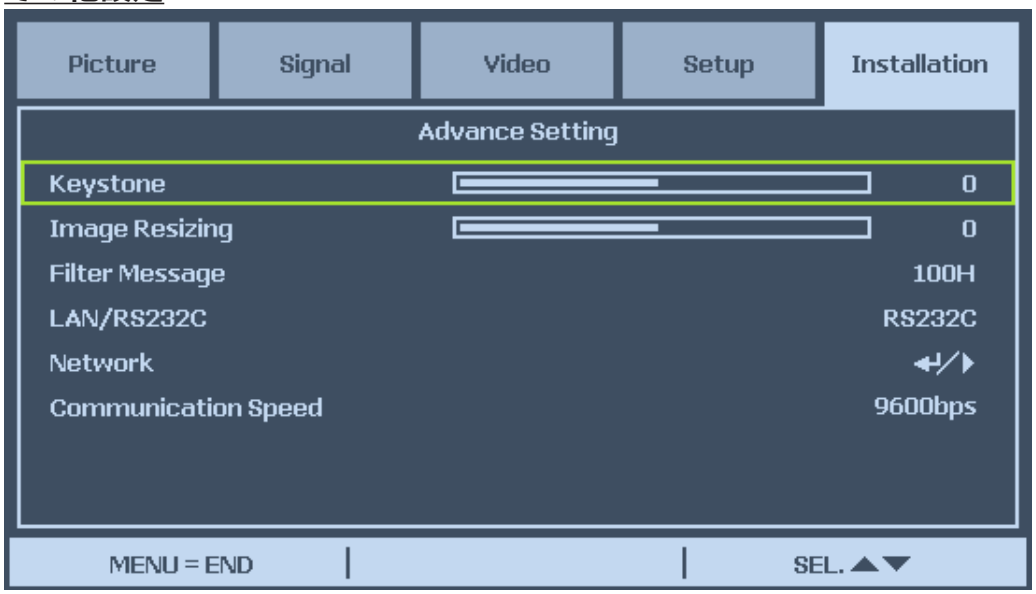
プロジェクタが上向き、または下向きに 10 度以上の傾斜を付けて設定する場合は、「アップ / ダウン」を選択してください。実際のランプ寿命が予想よりも短くなる場合があります。

テストパターン

設置用のテストパターンが表示されます。テストパターンを表示するには、リモコンの ◄ または ►、または TEST Pattern を使います。リモコンを使用する場合は、リモコンの ▲ または ▼ を押すと、好きなテストパターンを選択できます。



その他設定



台形補正
スクリーンに対し、上下に角度を付けて画像を投映すると、画像が歪みます。このような場合は、台形補正機能を使って歪みを修正してください。調整できる範囲は、約 +30 度以内です。台形補正を行うには、◄ または ► ボタンを使用します。

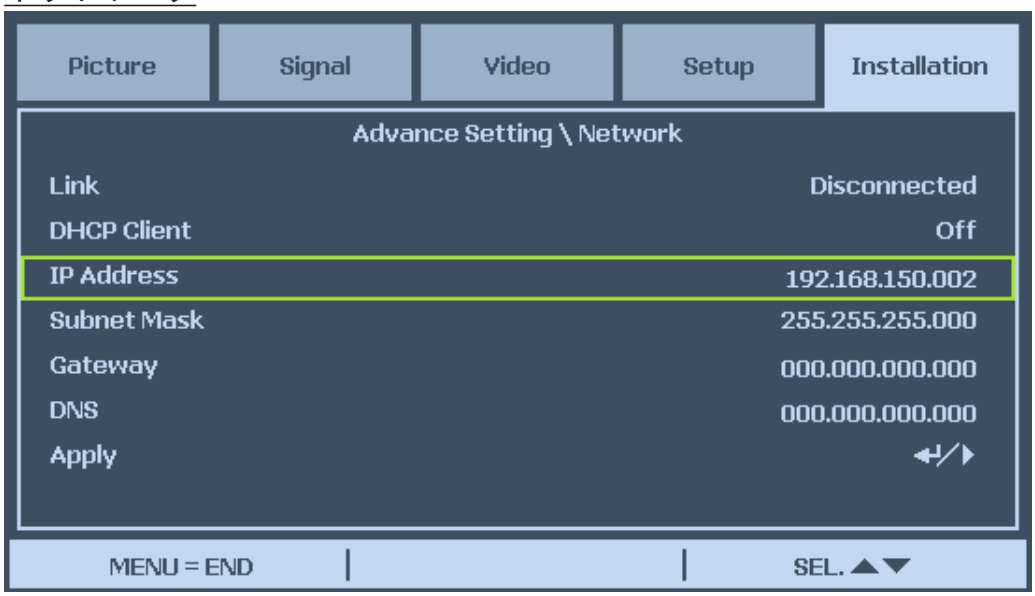
イメージリサイズ
台形補正を行うと、画像が縮小するか、拡大します。画像を縦に拡大または縮小するには、◄ または ► を使います。

フィルター警告表示
内部タイマーがフィルタのお手入れ時を検出し、メッセージを表示します。選択肢は、切、100H、200H、500H、1000H です。

LAN/RS232C
プロジェクタの制御パスを選択できます。

待機状態モードがエコに設定されているときには、LAN 機能、RS232C 制御が無効になります。これらの機能を使用する前に、設定を確認してください。

ネットワーク



リンク
ネットワーク接続の状態を表示します。

DHCP クライアント
固定 IP（切）または DHCP IP（入）のどちらかを選択するには、◄ または ► を使います。
入：IP アドレス、サブネット マスク、ゲートウェイ、DNS のパラメータを 自動的に有効にします。
切：IP アドレス、サブネット マスク、ゲートウェイ、DNS のパラメータを手動で設定します。

IP アドレス
下図のような IP アドレス入力画面を表示するには、◄ または ► を使います。IP アドレスを変更するには、▲ または ▼ を使います。



デフォルト値： 192.168.150.002

サブネットマスク
◄ または ► を使って数字を選択してサブネットマスクを設定します。変更するには、▲ または ▼ を使います。



ゲートウェイ
◄ または ► を使って数字を選択してゲートウェイを設定します。変更するには、▲ または ▼ を使います。



DNS
◄ または ► を使って数字を選択して DNS を設定します。変更するには、▲ または ▼ を使います。



デフォルト値： 000.000.000.000

確認
設定を保存して適用します。「はい」を選択して、設定を適用してください。



- IP アドレスが他のネットワーク機器と重複しないように設定してください。
- ネットワークの設定については、ネットワーク管理者にお尋ねください。

コミュニケーション：速度
コミュニケーション速度を選択して、接続のボーレートを設定します。
次の選択肢の中から選択してください。
- 2400bps
- 4800bps
- 9600bps
- 14400bps
- 19200bps
- 38400bps
- 57600bps
- 115200bps

長いケーブルを使用する場合は、値を低く設定してください。

初期化



設定値初期化
プロジェクタで変更した設定を初期値に戻します。Enter を押すか、► を押して 設定をリセットします。

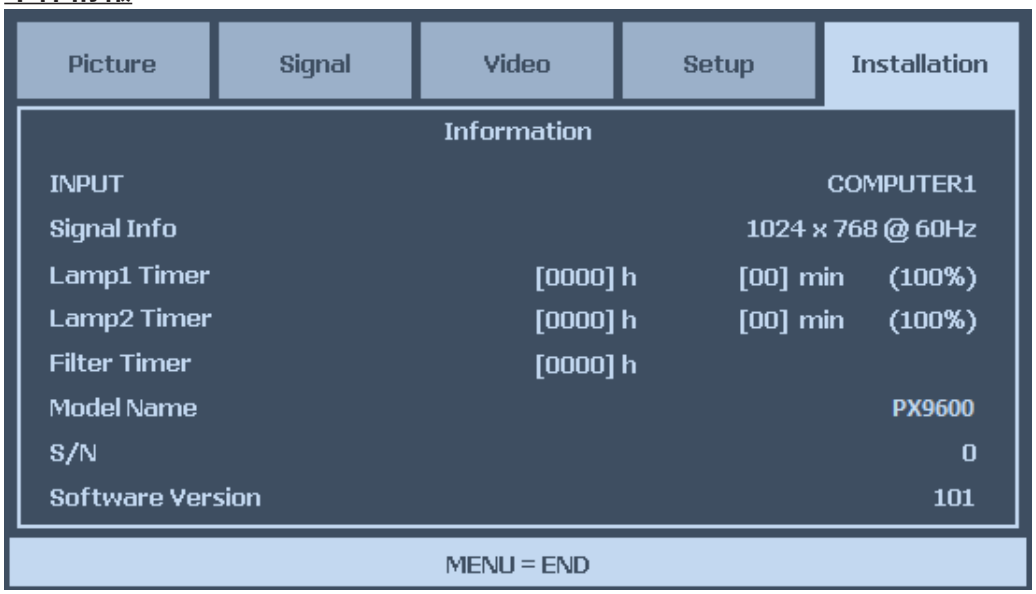


次のアイテムは初期化できません。
- ランプ時間（残率）
- 画面取込みで取得した画像
- フィルター使用時間

フィルター使用時間初期化
フィルタタイマーをリセットします。タイマーのリセットは、ダストフィルタのお手入れ後、または交換後に行ってください。Enter または ► を押すと確認メッセージが表示されますので、「はい」を選んでフィルタタイマーをリセットしてください。



本体情報



入力
現在の入力ソース。

入力信号確認
現在の入力信号の情報が表示されます。

ランプ時間（残率）
各プロジェクタのランプの寿命と残率を示します。ランプ寿命と残率は、参照用に示す計算された値です。実際の寿命は、ランプモード、使用状況に応じて変わります。

フィルター使用時間
最後にフィルタのタイマーをリセットした時からカウントした使用時間が表示されます。

モデル名
モデル名が表示されます。

シリアル番号
プロジェクタのシリアル番号が表示されます。

ソフトウェアバージョン
現在のソフトウェア バージョンが表示されます。

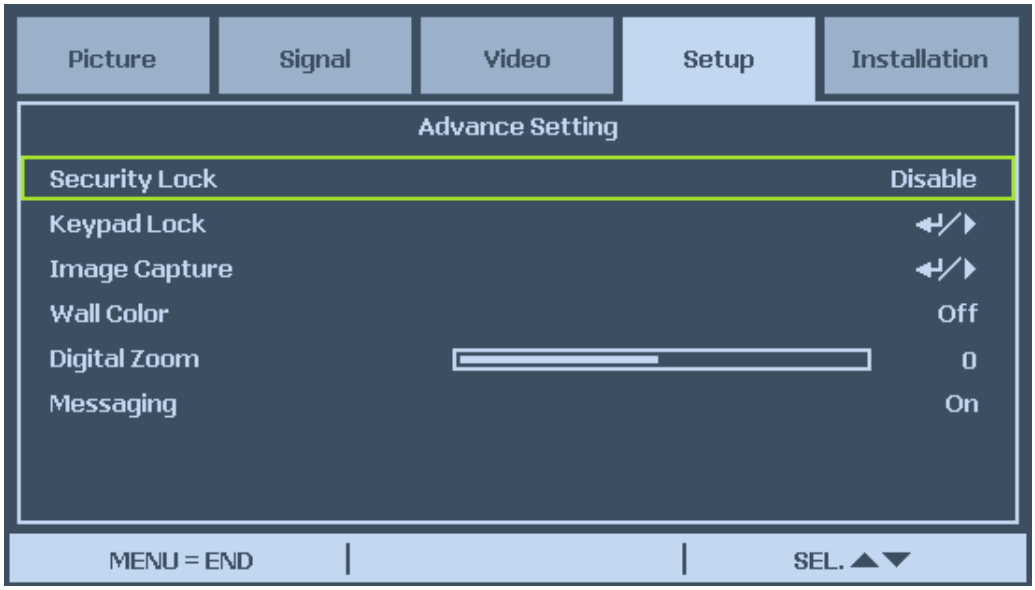
プロジェクタを不正使用から保護する

このプロジェクタには、OSD コントロール パネルをロックして、リモコン操作を拒否する内部セキュリティ機能が備わっています。セキュリティ機能にはデフォルトのキーワードはありません。初めてセキュリティ機能を有効にするときに、キーワードを設定してください。

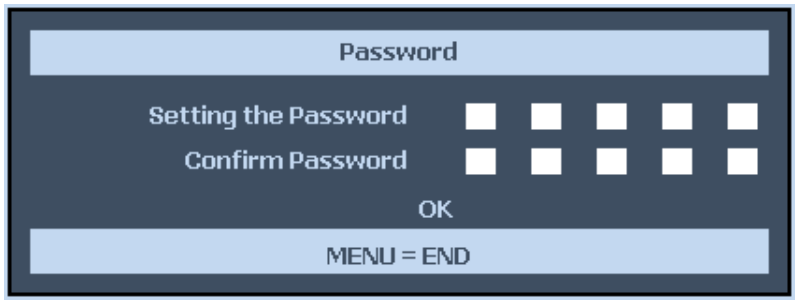
プロジェクタをロックする

セキュリティ キーワードを設定するには、次の手順に従ってください。

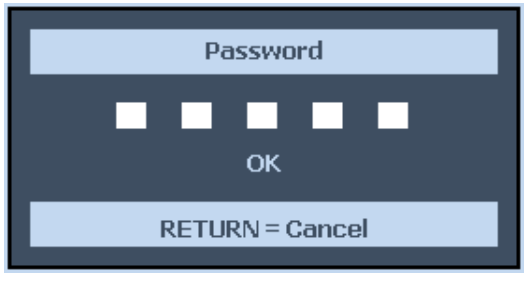
1. プロジェクタの OSD コントロール パネル、またはリモコンの「Menu」を押して、メニュー メニューを表示します。矢印キーを使って、「表示設定 / その他設定」メニューで「セキュリティロック」を選択します。



2. 矢印キーを使ってパスワードを入力します。**CANCEL** を押すと、セキュリティロック機能が有効になります。



3. セキュリティロック機能が作動すると、次回プロジェクタの電源を入れたときに、PIN コード画面が表示されます。



パスワードを設定したり、変更したりする時には、メモを取り安全な場所に保管してください。PIN コードを忘れると、プロジェクタを使用できなくなります。販売店かサービスセンターにお問い合わせください。

プロジェクタのロックを解除する

プロジェクタのロックを解除するには、次の手順に従ってください。

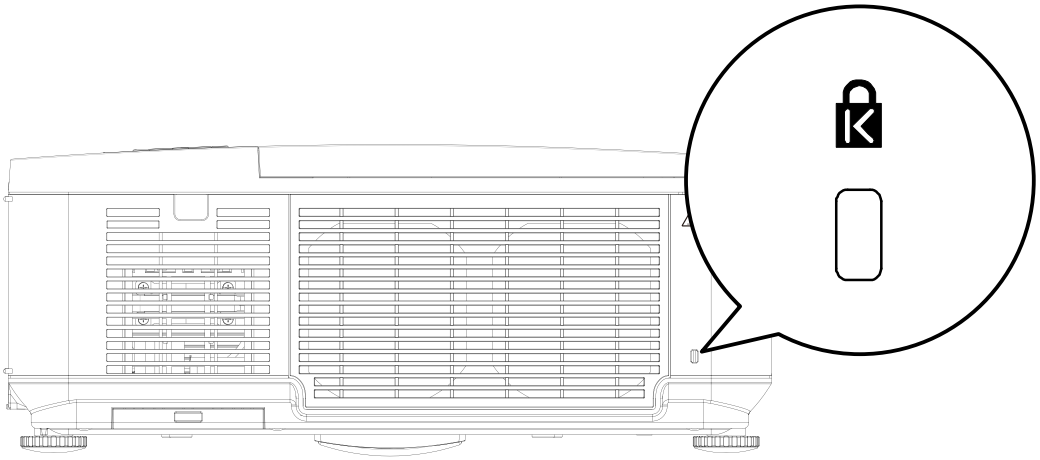
1. 稼働中またはスタートアップ時にプロジェクタをロックすると、ロック メッセージが表示されます。

2. プロジェクタのロックを解除するには、コントロールパネルかリモコンで「Menu」を押します。すると PIN コード入力画面が表示されます。あらかじめ設定された PIN コードを入力して、プロジェクタをアクティベートしてください。

物理的なロックを使う

Kensington ロックを使う

セキュリティに不安がある場合は、Kensington スロットとセキュリティケーブルを使ってプロジェクタを固定された場所に繋いでください。



追加情報

プロジェクタのお手入れ

プロジェクタのお手入れ。
ご使用のプロジェクタはほとんどメンテナンスの必要がありません。レンズを清潔に保つために、定期的なレンズのお手入れだけが必要です。ランプ以外はプロジェクタの部品は一切取り外さないでください。プロジェクタが正常に作動しなくなった場合は、販売店かお近くのカスタマーサービスセンターへお問い合わせください。

レンズのクリーニング

表面の汚れやほこりが付いていたら、レンズをクリーニングします。レンズのクリーニングを開始する前に、プロジェクタの電源をオフにして電源コードを抜き、完全に冷却されるまでしばらくお待ちください。
圧縮空気スプレーを使用してほこりを取り除きます。（ハードウェア販売店やカメラショップでご購入いただけます。）
汚れやしみが付いた場合は、適切なカメラレンズブラシを使用するか、レンズクリーナーで湿らせた柔らかい布でレンズの表面を軽く拭いてください。
研磨用パッド、アルカリ性 / 酸性クレンザー、研磨剤入りパウダー、揮発性溶剤（アルコール、ベンジン、シンナー、殺虫剤）などは一切ご使用にならないでください。ゴムやビニール部分にこのような素材を使用したり、長期間これらを接触したままの状態にしておくと、プロジェクタの表面やキャビネットの素材を傷つける場合があります。

レンズは絶対に指で触れたり、研磨剤を使用したり、こすったりしないでください。ペーパータオルでもレンズのコーティングがはがれる場合があります。適切なカメラレンズブラシ、布、クリーニング液だけを使用するようにしてください。プロジェクタがオンのとき、またはまだ熱を持っているときにレンズのクリーニングを行わないでください。レンズのお手入れを開始する前に、プロジェクタをオフにして完全に冷却してください。

プロジェクタケースのクリーニング

ケースのクリーニングする前に、プロジェクタの電源をオフにして電源ケーブルを抜き、完全に冷却されるまでしばらくお待ちください。
ほこりや汚れを取り除くには、乾燥した柔らかい、けば立ちのない布で拭きます。
落ちにくい汚れやしみを取り除くには、水で薄めた中性洗剤で布を湿らせて、ケースを拭きます。

ワックス、アルコール、ベンジン、シンナー、その他の化学洗剤は使用しないでください。こうした薬剤を使用すると、ケースを傷める場合があります。

プロジェクタの保管

長期間プロジェクタを保管する必要がある場合は、次の手順に従ってください。
保管場所の温度と湿度が、プロジェクタの推奨範囲内であることを確認します。範囲については、マニュアルの仕様ページを参照するか、販売店にお問い合わせください。
調整脚を格納します。
リモコンから電池を取り外します。
プロジェクタを元の梱包または同等の梱包に入れます。

プロジェクタの移動

プロジェクタを搬送するときは、元の梱包または同等の梱包で行うことを推奨します。

ランプの交換

ランプが切れたら、交換してください。ランプは必ず認定されたものに交換してください。詳しくは、お近くの販売店にお尋ねください。

- **ランプの設置方向はそれぞれ異なります。ランプを交換する際は、力を入れ過ぎないようにしてください。**
- **プロジェクタをデュアル ランプモードまたはシングル ランプモードで稼働するためには、両方のランプ モジュール（ランプ 1 およびランプ 2）を設置します。1 個のランプモジュールだけを装着すると、プロジェクタのランプが点灯せず、ランプの故障として表示されます。**

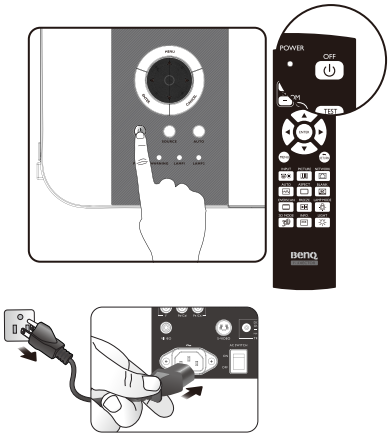
- **ランプには一定量の水銀が含まれていますので、お住まい地域の条例に従って破棄してください。**
- **新しいランプのガラス面には手を触れないでください。ランプの寿命が短くなる場合があります。**

ランプの取り扱いについて

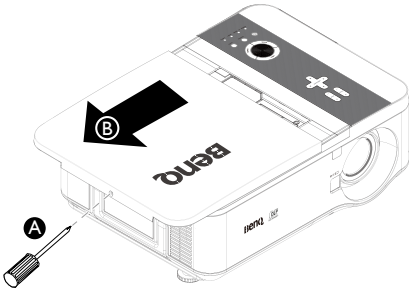
- このプロジェクタには、取り扱いに注意が必要な高圧ランプが使用されています。正しく取り扱わなければ、事故、ケガ、火災の原因となります。
- ランプ毎に、また使用環境によっても寿命は変わります。すべてのランプの寿命が同じであるという保証はありません。一部のランプは他のランプよりも寿命が短く、早く使えなくなってしまう場合があります。
- LAMP 1 または LAMP 2 が点灯してランプを交換するように警告が表示された場合は、冷却後直ちにランプを新しいものに交換してください（このマニュアルの「ランプ交換」セクションに記載される説明に従ってください。）LAMP 1 または LAMP 2 が点灯した状態で続けてランプを使用すると、ランプが爆発する可能性があります。
- ランプに強い振動や衝撃を与えたり、長時間使用したことにより劣化が生じると、ランプが爆発する場合があります。爆発の危険性は、プロジェクタとランプの使用環境または条件によって変わります。ランプが爆発したときには、次の安全のための注意によく従ってください。
- すぐにプロジェクタをコンセントから外してください。本体のチェック、ランプ交換のために、認証されたサービス センターにお問い合わせください。また、プロジェクタの周辺に壊れたランプの破片が落ちていないか、通気口から破片が飛び散っていないかよく確認してください。ガラスの破片が飛び散っているのが見つかったら、しっかりと掃除をしてください。認証され、経験を積んだ技術者で、プロジェクタの補修に慣れている技術者以外は、プロジェクタの内部をチェックすることはできません。特にプロジェクタの補修に詳しくない人が本体を補修しようとすると、事故やケガの原因となります。
- ランプが切れたら、交換してください。ランプは必ず認証されたものをお選びください。お近くの販売店でご購入いただけます。

- ランプを交換する前、最低でも 30 分前には、プロジェクタの電源を切り、プラグを抜いてください。そうしなければ、火傷の原因となります。
- 天井に取り付けられたプロジェクタのランプを交換する際は、必ず安全用の保護メガネをかけてください。

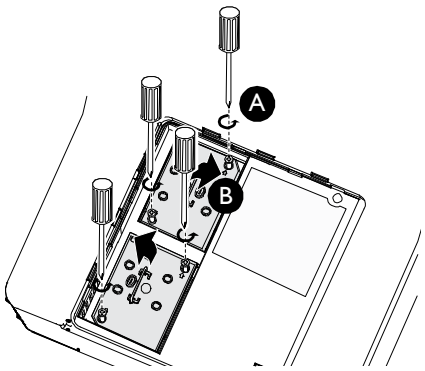
1. プロジェクタの電源を切って、コンセントからプラグを抜いてください。接続してある すべての装置をオフにして、ケーブル類をすべて外してください。



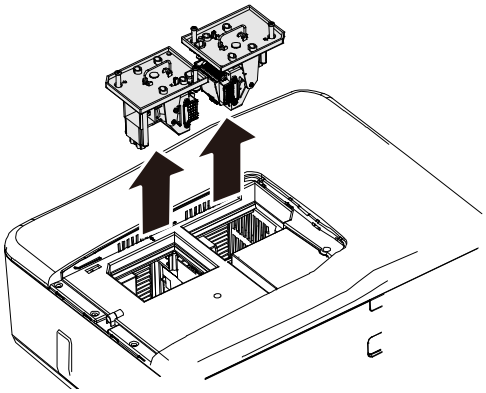
2. ランプカバー（A）のネジを外し、（B）に示すようにランプカバーをスライドさせてください。



3. ランプモジュール（A）のネジを 弛めてください。（B）に示すように、モジュール ハンドルを持ち上げて ください。

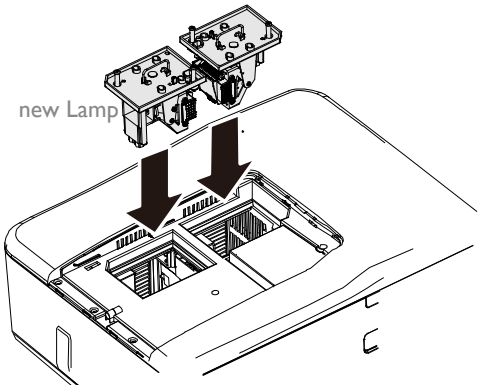


4. 表示方向にモジュール ハンドルを 引くと、ランプを取り出せます。



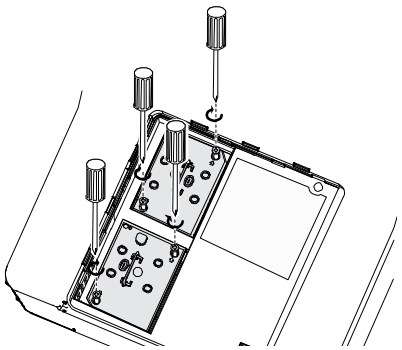
- 急激に引っ張るとランプが割れ、ガラスの破片がプロジェクタ内に散乱します。指にけがをしたり、内部コンポーネントにキズがついたりする場合がありますので、破損したランプガラスを除去するときには特に注意してください。
- 取り出したランプは水のかかる場所、子供の手が届く場所、可燃物の付近には置かないでください。
- ランプを取り出した後は、プロジェクタ内に手を入れないでください。内部の光学コンポーネントに触れると、画像ぼけの原因となります。

5. 1 から 3 までの手順を逆に行い、新しいランプ モジュールを 取り付けます。

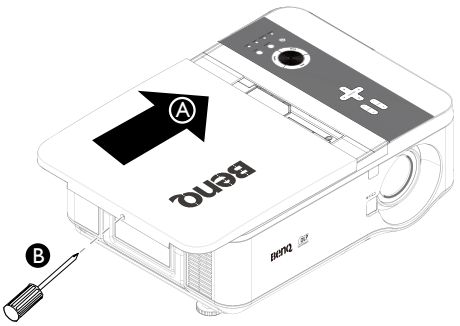


6. ランプボックスを固定するネジを締めます。ランプ コネクタを再度接続します。

7. ハンドルをしっかりとロックしてください。



8. ランプカバーを戻します。
ランプカバー（A）を閉じて、ネジ（B）を ロックします。



9. ランプカバーのネジを締めます。

10. 電源を再び入れて、プロジェクタのスイッチを入れます。

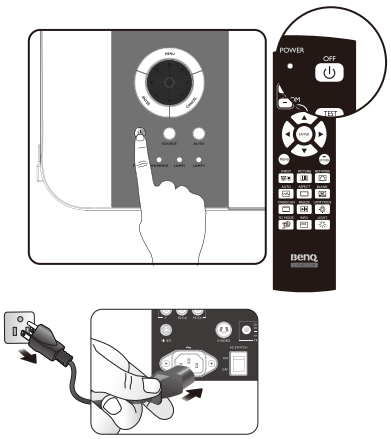
ネジは締めすぎないでください。
ネジの締め方がゆるいと接触が悪くなり、故障の原因になる場合があります。

カラーホイール（オプション）のインストール

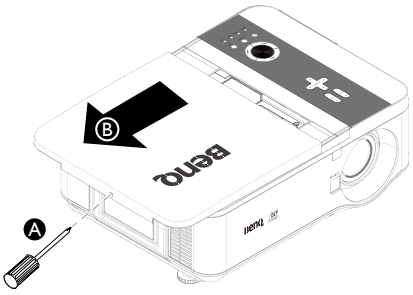
このプロジェクタには、4 セグメントのカラーホイールが装備されています。追加で 6 セグメントのカラーホイールを装着できます。カラーホイール（ランプ 1 の横のランプカバー下にあります）を交換するには、次の説明をお読みください。

ランプ格納庫とカラーホイールが冷却されるまでお待ちください。

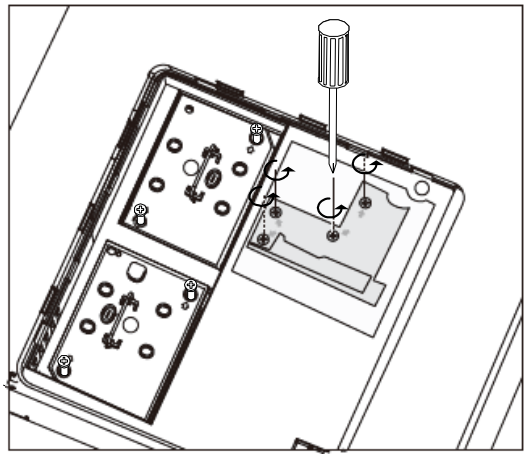
1. プロジェクタの電源を切って、コンセントからプラグを抜いてください。接続してある すべての装置をオフにして、ケーブル類をすべて外してください。



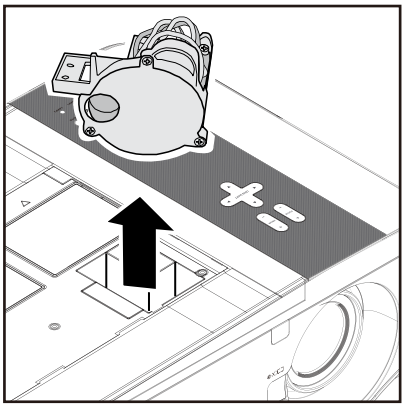
2. ランプカバー（A）のネジを外し、（B）に示すようにランプカバーをスライドさせてください。



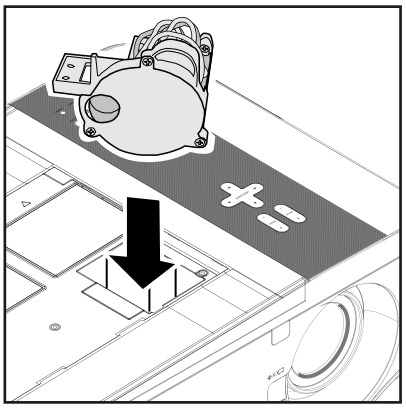
3. 4 つのセグメントに分かれたカラーホイールのネジ（x 4）を弛めてください。



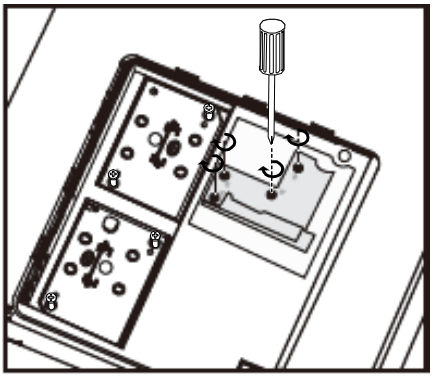
4. 表示方向にカラーホイールを持ち上げます。



5. 6 つのセグメントに分かれたカラーホイールを挿入します。



6. 図を参考に、固定ネジを締めて、ランプカバーを締めます。



使用しないカラーホイールの保管：使用しないカラーホイールは、6 セグメントのカラーホイール（別売り）が入っていたジッパー付きの袋に入れて保管してください。この袋に入れることで、カラーホイールをほこりから保護します。

フィルタのお手入れ

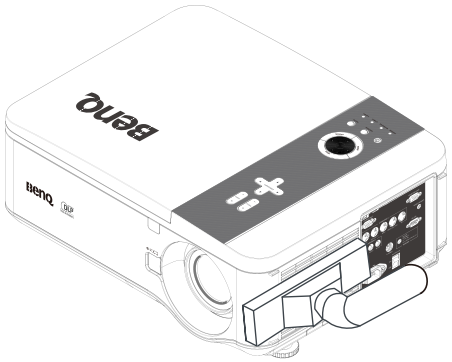
このプロジェクタには、ファンにホコリや粒子が付着しないように、3 つのフィルタが付いています。操作時間が 500 時間を超える毎にお手入れをしてください。ほこりが立ちやすい場所の場合は、さらに頻繁にお手入れを行ってください。フィルタが汚れていたり、目詰まりしたりすると、過熱の原因となります。次のようなメッセージが表示された時には、フィルタのお手入れを行ってください。

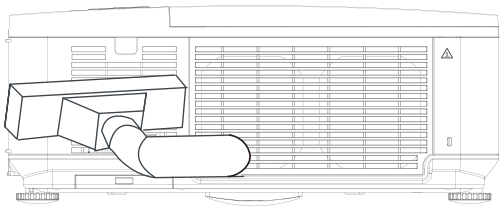
「フィルタのお手入れを行ってください」というメッセージが表示されたら、3 つのフィルタを同時にお手入れして、フィルタ時間の表示が統一されるようにしてください。「オプション」メニューで「フィルター警告表示」を有効にしておく必要があります。

フィルタのお手入れを行うには、次の説明をお読みください。

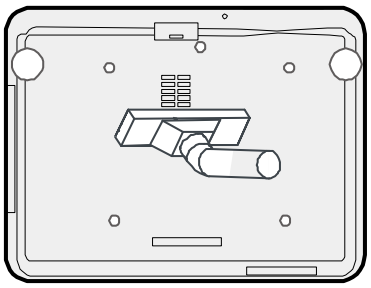
1. 左側と背面のフィルタは、次の図に示す方法でお手入れできます。

排気口の外側だけは、掃除機で掃除することができます。

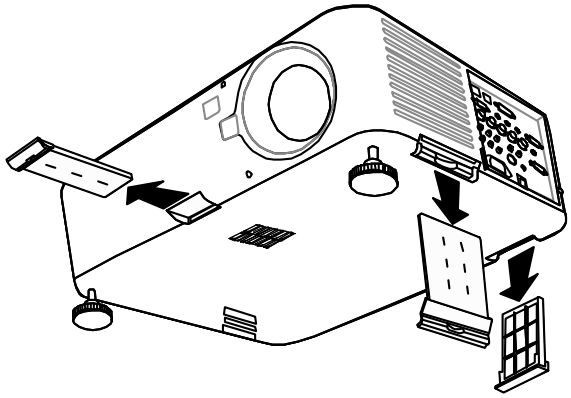




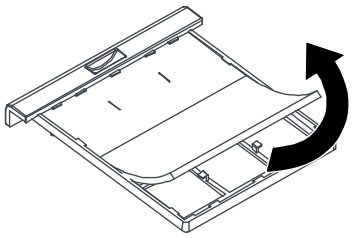
2. 底面の排気口は、図に示す方法でお手入れしてください。



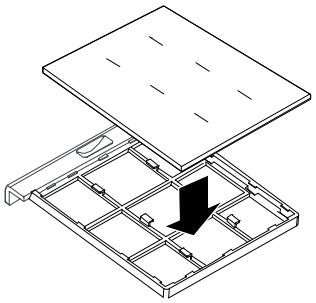
3. フィルタホルダーを表示方向にゆっくりとスライドさせます。



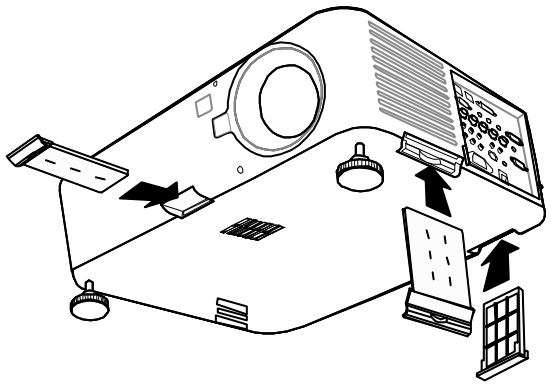
4. 表示される方向に向かって、3 つすべてのフィルタホルダーからフィルタを持ち上げます。フィルタホルダーから完全に 取り出して、捨ててください。



5. フィルタを取り換えて、しっかりと取り付けてください。



6. 表示方向にゆっくりとフィルタホルダーを押さえます。



トラブルシューティング

インジケータのメッセージ

セットアップや内部パーツに問題が生じた場合、ユーザーに知らせるためにインジケータ メッセージが用意されています。プロジェクタの上面にある LED は、WARNING およびランプ 1/2 の状態を示すと共に、WARNING LED を通じて一般的な作業手順を知らせます。

4 つの LED の状態は、次の表にまとめてあります。

LED のインジケータ	LED の状態	プロジェクタの状態
電源インジケータ	オフ	AC オフ
	赤く点灯	待機状態
	緑色に点灯	電源入
	オレンジ色に点滅	プロジェクタ冷却中
	緑色に点滅	スタートアップ
ランプのインジケータ	緑色に点灯	標準、ランプモードが標準に設定されています
	オレンジ色に点灯	標準、ランプモードがエコに設定されています
	緑色に点滅	ランプモードが標準に設定され、ウォームアップ中
	オレンジ色に点滅	ランプモードがエコに設定され、ウォームアップ中

LED のインジケータ	LED の状態	原因
警告インジケータ	赤く点滅	ランプカバーが開いています。
	赤く 2 回点滅	内部温度が異常です。 ・ プロジェクタ周辺の温度が異常です。 ・ プロジェクタの周辺が 104°F（40°C）を超えています。
		・ 通気口が塞がれています。 ・ 正しく通気できる状態に設置してください。 ・ 内部回路が故障した可能性があります。
	オレンジ色に点滅	内部温度が異常です。 ・ 冷却ファンが故障しています。 ・ 通気口が塞がれています。 ・ 内部回路が故障した可能性があります。 お近くの販売店またはサービスセンターにお尋ねください。

LED の インジケータ	LED の 状態	原因
ランプの インジケータ	赤く点滅	ランプが点灯しません ・ ランプが装着されていないか、交換する必要があります。 ・ ランプを装着するか、ランプが正しく装着されているか確認してください。
	赤く 2 回点滅 （繰り返し）	ランプが点灯しません ・ ランプが正常にシャットダウンされませんでした。 ・ ランプが故障しました。 ・ ランプの回路が故障しました。 お近くの販売店またはサービスセンターにお尋ねください。

トラブルシューティング

よくある問題とその対処法

プロジェクタをご使用になると、時々問題が生じる場合があります。次の説明を参考にして、解決してみてください。それでも問題を解決できない場合は、販売店にお問い合わせください。
通常は、単に接続が正しく行われていないことが原因です。作業に入る前に、まず次の項目を確認してください。

- コンセントが故障していないか、別の電気製品でお試しください。
- プロジェクタがオンになっていることを確認してください。
- すべての接続が正しく行われているか確認してください。
- 接続されている装置の電源が入っているか確認してください。
- 接続されている PC がサスペンド モードになっていないか確認してください。
- 接続されているノートブック コンピュータが外部ディスプレイに設定されているか確認してください。（通常は、ノートブックの Fn- キーと別のキーを合わせて押すことで実行できます。）

トラブルシューティングのためのヒント

問題別セクションに記載される手順に従ってください。この手順に従うと、より速く問題を解決できます。
問題のあるパーツを特定してください。
例えば、電池を交換しても問題を解決できない場合は、元の電池に戻して次のステップに進みます。
行った手順を記録してください。この情報は、テクニカル サポートやサービス担当者に問い合わせるときに役に立ちます。

画像の問題

問題： スクリーンに画像が映し出されません

1. パソコンの設定を確認してください。
2. すべての装置の電源を一度切り、次に正しい順序で再度電源を入れてください。

問題：画像がぼやけます

1. プロジェクタのフォーカスを調整します。
2. リモコンまたはプロジェクタの AUTO SYNC ボタンを押します。
3. プロジェクタとスクリーンの距離が指定範囲以内になるようにします。
4. プロジェクタのレンズに汚れが付着していないか確認します。
5. レンズカバーを外します。

問題：画像の上部または下部が広がります（トラペゾイド効果）

1. プロジェクタとスクリーンが直角になるように設置してください。
2. リモコンの台形補正ボタンを使って修正してください。

問題：画像が逆転または反転します

OSD の「設定」メニューで天吊りと背面の設定を確認してください。

問題：画像にすじが走ります

1. OSD の「信号調整」メニューで水平位相とクロックを初期値に戻してください。
2. 接続されている PC のビデオカードによる問題ではないか確認するために、別のコンピュータに繋いでみてください。

問題：画像にコントラストがなく平坦になってしまいます

1. OSD の「映像調整」メニューでコントラストを調整してください。
2. OSD の「映像調整」メニューで明るさを調整してください。

問題：投映画像の色が入力源の色と一致しません。

色温度と映像調整の設定を調整してください。

ランプの問題

問題：プロジェクタから光線が投射されません

1. 電源ケーブルが正しく接続されているか確認してください。
2. 別の電子機器を使って電源が正常に使用できるか確認してください。
3. 正しい手順でプロジェクタを再起動し、電源 LED が緑になっているか確認してください。
4. ランプを交換したばかりの時には、ランプの接続をリセットしてみてください。
5. ランプモジュールを交換します。
6. レンズキャップを外します。
7. プロジェクタに古いランプを戻し、プロジェクタを修理に出してください。

問題：ランプが切れます

8. 電源サージによってランプが切れる場合があります。電源ボタンを 2 回押して、プロジェクタの電源を 切ってください。電源 LED がオレンジ色になっているときには、電源ボタンを押してください。
9. ランプモジュールを交換します。
10. プロジェクタに古いランプを戻し、プロジェクタを修理に出してください。

リモコンの問題

問題：プロジェクタがリモコンに反応しません

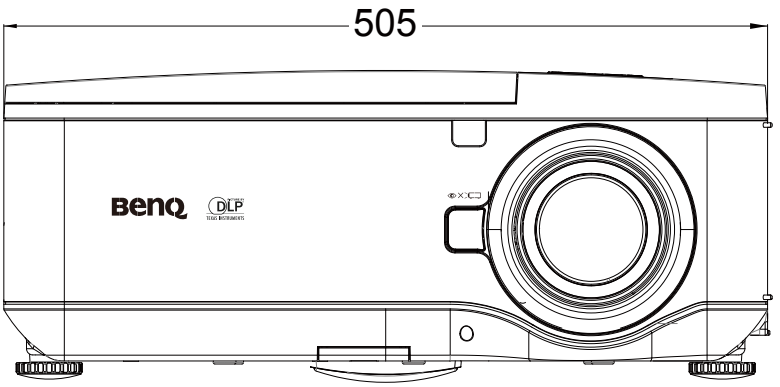
1. リモコンをプロジェクタのリモートセンサーに向けてください。
2. リモコンとセンサーの間に物を置かないでください。
3. 部屋の蛍光灯を消してください。
4. 電池の極性を確認してください。
5. 電池を交換してください。
6. 近くにある赤外性が有効になったデバイスの電源を切ってください。
7. リモコンを修理に出してください。
8. リモコンのコードとプロジェクタのコードが対応しているか確認してください。
9. リモコンのコンパートメントの蓋にあるスイッチを「使用」の位置に 合わせてください。

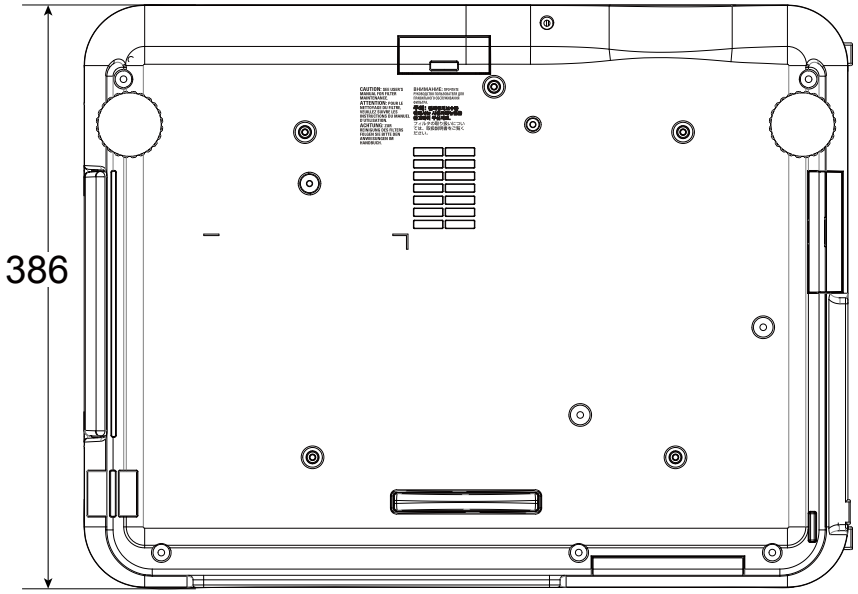
仕様

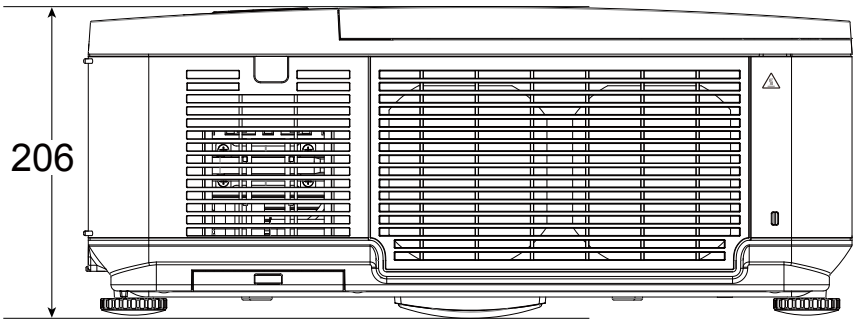
仕様はすべて予告なしに変更されることがあります。

モデル		PX9600	PW9500
ディスプレイ デバイス		0.7”、1- DLP チップ	0.65”、1- DLP チップ
ディスプレイ デバイス		XGA（1024x768）	WXGA（1280x800）
入力端子	DVI-D（HDCP 対応）	1	
	コンピュータ / コンポーネント（5BNC）	1	
	コンピュータ / コンポーネント（D-sub 15p）	1	
	コンポーネント（RCA）	X1、Y/Pb(Cb)/Pr(Cr) x1	
	S-Video（ミニ Din 4 pin）	1	
	Video（RCA）	1	
出力	コンピュータ / コンポーネント（D-sub 15 p）	1	
	トリガー（φ3.5mm ステレオ ミニ ジャック）	X1（DC 12V 出力）	
制御および補修端末	Lan（RJ-45）	1	
	有線リモート（φ3.5mm ステレオ ミニジャック）	1	
	RS-232C	1	
	補修用 USB（Type B）	1	
電源		AC 100 - 240V、50/60Hz	
入力		7.3A	
消費電力（待機状態モード：標準 / エコ）		AC 110V 使用で 715W（20.3W/<0.5W）	
		AC 240V 使用で 675W（21.3W/<0.5W）	
操作温度		41°F から 104°F（5°C から 40°C）	
保管温度		14°F から 140°F（-10°C から 60°C）、湿度 5% から 90%（結露なきこと）	
寸法		19.9"（幅）x 15.1"（高さ） x 8.1"（奥行き） 505 mm（幅）x 386 mm（高さ）x 206 mm（奥行き） （突起部分を含まず）	
重量		37.5 lb/17 kg	

寸法







タイミング表

次の表は、互換性のある信号タイプ、解像度、周波リフレッシュ レートをまとめたものです。
水平：15 kHz、31 kHz から 90 kHz、垂直：50 Hz から 85 Hz

モード	解像度	水平同期 (KHz)	垂直同期 (Hz)	アナログ	デジタル
VGA	640x480	31.5	60	O	O
		37.9	72	O	O
		37.5	75	O	
		43.3	85	O	O
SVGA	800x600	35.2	56	O	O
		37.9	60	O	O
		48.1	72	O	O
		46.9	75	O	O
		53.7	85	O	
XGA	1024x768	48.4	60	O	O
		56.5	70	O	O
		60.0	75	O	
		68.7	85	O	
WXGA	1280x720	45.0	60	O	O
	1280x768	47.8	60	O	O
	1280x800	49.7	60	O	O
		62.8	75	O	
	1360x768	47.7	60		O
	1366x768	47.7	60		O
WXGA+	1440x900	55.9	60	O	
SXGA	1152x864	67.5	75	O	
	1280x960	60	60	O	O
	1280x1024	64.0	60	O	O
		80.0	75	O	O
SXGA+	1400x1050	65.3	60	O	O
WSXGA+	1680x1050	65.3	60	O	
UXGA	1600x1200	75.0	60	O	
VGA (MAC 13")	640x480	34.9	67	O	
SVGA (MAC 16")	832x624	49.7	75	O	
XGA (MAC 19")	1024x768	60.2	75	O	
SXGA (MAC 21")	1152x870	68.7	75	O	

3D 対応タイミング

モード	解像度	水平同期 (KHz)	垂直同期 (Hz)	アナログ	デジタル
VGA	800x600	37.9	60	O	O
		77.1	120		
XGA	1024x768	48.4	60	O	O
		98.6	120		
WXGA	1280x800	49.7	60	O	O
		101.6	120		
	1280x720	45.0	60	O	
		92.6	120		

DTV

信号		垂直周波数（Hz）	水平周波数（Hz）	アナログ	デジタル
SDTV	480i	15.7	60.0	O	
	576i	15.6	50.0	O	
EDTV	480p	31.5	60.0	O	O
	576p	31.3	50.0	O	O
HDTV	720p	45.0	60.0	O	O
	720p	37.5	50.0	O	O
	1080	33.8	60.0	O	O
	1080	28.1	50.0	O	O
	1080	56.3	50	O	O
	1080	67.5	60	O	O

- プロジェクタ本来の解像度よりも低い、または高い解像度の画像は圧縮されます。
- 一部のコンポジット信号や信号線が減らされた信号は、正しく表示されない場合があります。
- 上記の表に記載されていない信号は、正しく表示されない場合があります。その場合は、PC でリフレッシュレートか解像度を変更してみてください。手順については、PC の「画面のプロパティ」のヘルプをご覧ください。

RS232 コマンド コントロール

機能	タイプ	説明	ASCII
電源	書き込み	電源入	<CR>*pow=on#<CR>
	書き込み	電源切	<CR>*pow=off#<CR>
	読み取り専用	電源の状態	<CR>*pow=?#<CR>
ソース選択	書き込み	COMPUTER/YPbPr	<CR>*sour=RGB#<CR>
	書き込み	COMPUTER 2/YPbPr2	<CR>*sour=RGB2#<CR>
	書き込み	コンポーネント	<CR>*sour=ypbr#<CR>
	書き込み	DVI-D	<CR>*sour=dvid#<CR>
	書き込み	コンポジット	<CR>*sour=vid#<CR>
	書き込み	S-Video	<CR>*sour=svid#<CR>
	読み取り	現在の入力源	<CR>*sour=?#<CR>
映像モード	書き込み	プレゼンテーション	<CR>*appmod=preset#<CR>
	書き込み	sRGB	<CR>*appmod=srgb#<CR>
	書き込み	ゲーム	<CR>*appmod=game#<CR>
	書き込み	シネマ	<CR>*appmod=cine#<CR>
	書き込み	標準	<CR>*appmod=std#<CR>
	読み取り	映像モード	<CR>*appmod=?#<CR>
映像調整設定	書き込み	コントラスト +	<CR>*con=+#<CR>
	書き込み	コントラスト -	<CR>*con=-#<CR>
	読み取り	コントラスト値	<CR>*con=?#<CR>
	書き込み	明るさ +	<CR>*bri=+#<CR>
	書き込み	明るさ -	<CR>*bri=-#<CR>
	読み取り	明るさ値	<CR>*bri=?#<CR>
	書き込み	色の濃さ +	<CR>*color=+#<CR>
	書き込み	色の濃さ -	<CR>*color=-#<CR>
	読み取り	色の濃さ値	<CR>*color=?#<CR>
	書き込み	シャープネス +	<CR>*sharp=+#<CR>
	書き込み	シャープネス -	<CR>*sharp=-#<CR>
	読み取り	シャープネス値	<CR>*sharp=?#<CR>
	書き込み	色温度 - 暖色	<CR>*ct=warm#<CR>
	書き込み	色温度 - 標準	<CR>*ct=normal#<CR>
	書き込み	色温度 - 寒色	<CR>*ct=cool#<CR>
	読み取り	色温度の状態	<CR>*ct=?#<CR>
	書き込み	画面サイズ 4:3	<CR>*asp=4:3#<CR>
	書き込み	画面サイズ 16:9	<CR>*asp=16:9#<CR>
	書き込み	画面サイズ自動（画面サイズ標準）	<CR>*asp=AUTO#<CR>
	書き込み	画面サイズ リアル（本来のサイズ）	<CR>*asp=REAL#<CR>
	書き込み	画面サイズ ワイド（画面サイズ フル）	<CR>*asp=WIDE#<CR>
	読み取り	画面サイズの状態	<CR>*asp=?#<CR>
	書き込み	白伸長入（BC = 2）	<CR>*BC=on#<CR>
	書き込み	白伸長切（BC = 0）	<CR>*BC=off#<CR>
	読み取り	白伸長の状態	<CR>*BC=?#<CR>

操作設定	書き込み	プロジェクタの取り付け位置 - 正面	<CR>*pp=FT#<CR>
	書き込み	プロジェクタの取り付け位置 - リア	<CR>*pp=RE#<CR>
	書き込み	プロジェクタの取り付け位置 - 天井背面	<CR>*pp=RC#<CR>
	書き込み	プロジェクタの取り付け位置 - 天井正面	<CR>*pp=FC#<CR>
	読み取り	プロジェクタの取り付け位置の状態	<CR>*pp=?#<CR>
	書き込み	クイック自動検索入（自動入力サーチ入）	<CR>*QAS=on#<CR>
	書き込み	クイック自動検索切（自動入力サーチ切）	<CR>*QAS=off#<CR>
	読み取り	クイック自動入力の状態	<CR>*QAS=?#<CR>
	書き込み	ダイレクト電源オン - 入（自動復帰モード）	<CR>*directpower=on#<CR>
	書き込み	ダイレクト電源オン - 切（自動復帰モード - 切）	<CR>*directpower=off#<CR>
	読み取り	ダイレクト電源オンの状態	<CR>*directpower=?#<CR>
ボーレート	書き込み	2400	<CR>*baud=2400#<CR>
	書き込み	4800	<CR>*baud=4800#<CR>
	書き込み	9600	<CR>*baud=9600#<CR>
	書き込み	14400	<CR>*baud=14400#<CR>
	書き込み	19200	<CR>*baud=19200#<CR>
	書き込み	38400	<CR>*baud=38400#<CR>
	書き込み	57600	<CR>*baud=57600#<CR>
	書き込み	115200	<CR>*baud=115200#<CR>
	読み取り	現在のボーレート	<CR>*baud=?#<CR>
ランプ制御	読み取り	ランプ使用合計時間	<CR>*ltim=?#<CR>
	読み取り	ランプ 2 使用合計時間	<CR>*ltim2=?#<CR>
	書き込み	標準モード	<CR>*lampm=lnor#<CR>
	書き込み	エコ モード	<CR>*lampm=eco#<CR>
	読み取り	ランプモードの状態	<CR>*lampm=?#<CR>

その他	読み取り	モデル名	<CR>*modelname=?#<CR>
	書き込み	消画入	<CR>*blank=on#<CR>
	書き込み	消画切	<CR>*blank=off#<CR>
	読み取り	消画の状態	<CR>*blank=?#<CR>
	書き込み	静止入	<CR>*freeze=on#<CR>
	書き込み	静止切	<CR>*freeze=off#<CR>
	読み取り	静止の状態	<CR>*freeze=?#<CR>
	書き込み	メニュー入	<CR>*menu=on#<CR>
	書き込み	メニュー切	<CR>*menu=off#<CR>
	書き込み	メニューの状態	<CR>*menu=?#<CR>
	書き込み	アップ	<CR>*up#<CR>
	書き込み	ダウン	<CR>*down#<CR>
	書き込み	右	<CR>*right#<CR>
	書き込み	左	<CR>*left#<CR>
	書き込み	Enter	<CR>*enter#<CR>
	書き込み	3D 同期切（DLP Link 切）	<CR>*3d=off#<CR>
	書き込み	3D 同期フレーム シーケンシャル	<CR>*3d=fs#<CR>
	書き込み	3D インバータ無効	<CR>*3d=da#<CR>
	書き込み	3D インバータ	<CR>*3d=iv#<CR>
	読み取り	3D 同期の状態	<CR>*3d=?#<CR>
	書き込み	高地モード入	<CR>*Highaltitude=on#<CR>
	書き込み	高地モード切	<CR>*Highaltitude=off#<CR>
	読み取り	高地モードの状態	<CR>*Highaltitude=?#<CR>
	読み取り	エラーコード	<CR>*error=report#<CR>
	書き込み	シリアル番号 コード 1	<CR>V99N1234<CR>
	書き込み	シリアル番号 コード 2	<CR>V99N5678<CR>
	読み取り	シリアル番号クエリー	<CR>V99N0000<CR>
	書き込み	レンズシフト アップ	<CR>*lst=up#<CR>
	書き込み	レンズシフト ダウン	<CR>*lst=down#<CR>
	書き込み	レンズシフト左	<CR>*lst=left#<CR>
	書き込み	レンズシフト右	<CR>*lst=right#<CR>
	書き込み	フォーカス +	<CR>*focus=+#<CR>
	書き込み	フォーカス -	<CR>*focus=-#<CR>
	書き込み	ズーム +	<CR>*zoom=+#<CR>
	書き込み	ズーム -	<CR>*zoom=-#<CR>
	書き込み	自動同期	使用できません
	読み取り	フィルタータイマー表示	使用できません
	書き込み	システム リセット	使用できません
	読み取り	F/W 版を入手	使用できません
	読み取り	色合い調整	使用できません
	書き込み	色合い設定	使用できません
	読み取り	台形補正値表示	使用できません
	書き込み	台形補正値設定	使用できません
	読み取り	メッセージング使用	使用できません
	読み取り	メッセージング設定	使用できません

BenQ ecoFACTS

BenQ has been dedicated to the design and development of greener product as part of its aspiration to realize the ideal of the "Bringing Enjoyment 'N Quality to Life" corporate vision with the ultimate goal to achieve a low-carbon society. Besides meeting international regulatory requirement and standards pertaining to environmental management, BenQ has spared no efforts in pushing our initiatives further to incorporate life cycle design in the aspects of material selection, manufacturing, packaging, transportation, using and disposal of the products. BenQ ecoFACTS label lists key eco-friendly design highlights of each product, hoping to ensure that consumers make informed green choices at purchase. Check out BenQ's CSR Website at http://csr.BenQ.com/ for more details on BenQ's environmental commitments and achievements.



著作権

Copyright 2013 BenQ コーポレーション。All rights reserved。本書のいかなる部分も、BenQ コーポレーションの事前の書面による同意なく、電子的、機械的、磁気的、光学的、化学的、手動その他の手段を問わず、複製、転載、改変、検索システムへの保存、他言語またはコンピュータ言語への翻訳を行うことはできません。
このマニュアルに記載されるすべてのロゴ、製品、会社名は、各社の登録商標または著作権であり、識別のみを目的として使用しております。

免責

BenQ コーポレーションは、明示的または暗示的を問わず、本書の内容に関して、特に保証、商業的可能性、特定目的への適合性に関しては、いかなる表明または保証もいたしません。さらに、BenQ コーポレーションは本書を改定する権利と、このような改定や変更についていかなる人物に対しても BenQ コーポレーションが通知する義務を負うことなく内容を変更できる権利を有しています。
この取扱説明書の製作は、最新かつ最も正確な情報を提供するよう努めておりますが、内容は予告なく変更される場合があります。このマニュアルの最新版は、http://www.benq.com からご覧いただけます。

ハイパーリンクおよびサードパーティのウェブサイトに関する宣言

BenQ は、この製品からリンクされていたとしても、サードパーティにより維持管理されるウェブサイトまたはその他のリソースのコンテンツについては一切責任を負いません。このようなウェブサイトや同様のリソースにリンクが張ってあったとしても、明示の有無に関わらず、BenQ が保証したり、代表したりするという意味ではありません。
この製品にあらかじめインストールされていたサードパーティのコンテンツまたはサービスは、現状のままで提供されます。BenQ は、明示の有無に関わらず、サードパーティが提供するコンテンツやサービスに対していかなる保証も行いません。BenQ はサードパーティが提供するコンテンツやサービスに対し、その正確性、効率、最新性、法律に準拠しているか、または完全な状態であるかについて、いかなる保証も行いません。サードパーティが提供するコンテンツやサービスについて（契約の無視を含みます）、BenQ はいかなる保証も行いません。
サードパーティが提供するサービスは、一時的または永久に終了する場合があります。BenQ は、サードパーティが提供するコンテンツやサービスが常に良い状態に保たれているかについて、また当該コンテンツやサービスの終了について、一切責任を負いません。また、BenQ は、サードパーティが運営管理するウェブサイトまたは同様のリソースで行われた取引については、一切責任を負いません。
ご質問、ご意見、異議がある場合は、当該コンテンツまたはサービスの提供者にお問い合わせください。